

2025 年度

シラバス

(講義計画)

学校法人 立志舎
東京法律公務員専門学校
【法律研究学科 (1 年制)】

目次

頁数	科目区分	必修 選択	授業科目	授業 形態	第一学年		授業時数 合計	単位数 合計
					授業時数	単位数		
1	一般科目	選択必修	社会科学研究	演習	80	4	80	4
2	一般科目	選択必修	社会科学研究Ⅰ	演習	40	2	40	2
3	一般科目	選択必修	人文科学研究	演習	40	2	40	2
4	一般科目	選択必修	自然科学研究	演習	40	2	40	2
5	一般科目	選択必修	論作文研究	演習	40	2	40	2
6	一般科目	選択必修	時事問題研究	演習	40	2	40	2
7	専門科目	選択必修	職業実務研究ⅡA	演習	20	1	20	1
8	専門科目	選択必修	職業実務研究ⅡB	演習	20	1	20	1
9	専門科目	選択必修	職業実務研究ⅡC	演習	20	1	20	1
10	専門科目	選択必修	職業実務研究ⅡD	演習	20	1	20	1
11	専門科目	選択必修	職業実務研究ⅣA	演習	20	1	20	1
12	専門科目	選択必修	職業実務研究ⅣB	演習	20	1	20	1
13	専門科目	選択必修	職業実務研究ⅣC	演習	20	1	20	1
14	専門科目	選択必修	職業実務研究ⅣD	演習	20	1	20	1
15	専門科目	選択必修	公法研究	演習	80	4	80	4
16	専門科目	選択必修	民法研究	演習	60	3	60	3
17	専門科目	選択必修	経済学研究	演習	60	3	60	3
18	専門科目	選択必修	政治学・行政学研究	演習	20	1	20	1
19	専門科目	選択必修	経営学・財政学研究	演習	20	1	20	1
20	専門科目	選択必修	社会・教育・心理学研究	演習	20	1	20	1
21	専門科目	選択必修	コンピュータ演習Ⅰ	演習	20	1	20	1
22	専門科目	選択必修	ビジネスマナー	演習	80	4	80	4
23	専門科目	選択必修	卒業研究Ⅰ	演習	160	8	160	8
24	専門科目	選択必修	数的推理研究	演習	100	5	100	5
25	専門科目	選択必修	判断推理研究	演習	100	5	100	5
26	専門科目	選択必修	資料分析研究	演習	40	2	40	2
27	専門科目	選択必修	文章研究	演習	40	2	40	2
28	専門科目	選択必修	適性演習	演習	40	2	40	2
29	専門科目	選択必修	社会学研究	演習	20	1	20	1
30	専門科目	選択必修	教育・心理学研究	演習	20	1	20	1
31	専門科目	選択必修	総合演習Ⅰ	演習	80	4	80	4
32	専門科目	選択必修	総合演習Ⅱ	演習	80	4	80	4
33	専門科目	選択必修	総合演習Ⅲ	演習	40	2	40	2
34	専門科目	選択必修	ビジネス実務特講	講義	40	2	40	2
35	専門科目	選択必修	長文読解Ⅰ	演習	40	2	40	2
36	専門科目	選択必修	プレゼンテーション演習	演習	80	4	80	4
37	専門科目	選択必修	文書研究Ⅰ	演習	80	4	80	4
38	専門科目	選択必修	文書表現研究Ⅰ	演習	40	2	40	2
39	専門科目	選択必修	分析的判断研究Ⅰ	演習	40	2	40	2
40	専門科目	選択必修	法曹時事問題研究Ⅰ	演習	40	2	40	2
41	専門科目	選択必修	論理的判断研究Ⅰ	演習	40	2	40	2
42	専門科目	選択必修	社会事情	講義	40	2	40	2
43	専門科目	選択必修	長文読解Ⅱ	演習	40	2	40	2
44	専門科目	選択必修	文書表現研究Ⅱ	演習	40	2	40	2
45	専門科目	選択必修	分析的判断研究Ⅱ	演習	40	2	40	2
46	専門科目	選択必修	法曹時事問題研究Ⅱ	演習	40	2	40	2
47	専門科目	選択必修	論理的判断研究Ⅱ	演習	40	2	40	2
48	専門科目	選択必修	民法総合研究Ⅰ	演習	80	4	80	4
49	専門科目	選択必修	FP特講	講義	40	2	40	2
50	専門科目	選択必修	FP総合研究	演習	40	2	40	2
51	専門科目	選択必修	マンション管理法特講	講義	80	4	80	4
52	専門科目	選択必修	マンション設備管理特講	講義	80	4	80	4
53	専門科目	選択必修	制限法令特講	講義	80	4	80	4
54	専門科目	選択必修	宅建業法特講Ⅰ	講義	80	4	80	4
55	専門科目	選択必修	宅建業法特講Ⅱ	講義	80	4	80	4
56	専門科目	選択必修	賃貸管理法特講	講義	80	4	80	4
57	専門科目	選択必修	区分所有法特講	講義	80	4	80	4

58	専門科目	選択必修	卒業研究Ⅱ	演習	80	4	80	4
59	専門科目	選択必修	漢字能力Ⅰ	演習	80	4	80	4
60	専門科目	選択必修	民法総合研究Ⅱ	演習	80	4	80	4
61	専門科目	選択必修	キャリアデザイン研究	演習	40	2	40	2
必修科目合計					0	0	0	0
選択科目合計					2560	128	2560	128
卒業に必要な総授業時数					800		800	

※ 選択必須科目については、40単位以上を取得すること。

科目名：社会科学研究	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	開講学期：前期	種類：一般科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
法学および政治・経済分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指し、さらに総合的理解を深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 政治：民主政治の基本原則 1	41. 経済：経済のしくみ（2） 5		
2. 政治：民主政治の基本原則 2	42. 経済：経済のしくみ（2） 6		
3. 政治：民主政治の基本原則 3	43. 経済：経済の発展と福祉の向上 1		
4. 政治：民主政治の基本原則 4	44. 経済：経済の発展と福祉の向上 2		
5. 政治：民主政治の基本原則 5	45. 経済：経済の発展と福祉の向上 3		
6. 政治：民主政治の基本原則 6	46. 経済：経済の発展と福祉の向上 4		
7. 政治：日本国憲法の基本的性格 1	47. 経済：経済の発展と福祉の向上 5		
8. 政治：日本国憲法の基本的性格 2	48. 経済：経済の発展と福祉の向上 6		
9. 政治：日本国憲法の基本的性格 3	49. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 1		
10. 政治：日本国憲法の基本的性格 4	50. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 2		
11. 政治：日本国憲法の基本的性格 5	51. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 3		
12. 政治：日本国憲法の基本的性格 6	52. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 4		
13. 政治：日本の統治機構 1	53. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 5		
14. 政治：日本の統治機構 2	54. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 6		
15. 政治：日本の統治機構 3	55. 現代社会：現代の民主政治 1		
16. 政治：日本の統治機構 4	56. 現代社会：現代の民主政治 2		
17. 政治：日本の統治機構 5	57. 現代社会：現代の民主政治 3		
18. 政治：日本の統治機構 6	58. 現代社会：現代の民主政治 4		
19. 政治：日本の政治の現状と問題 1	59. 現代社会：現代の民主政治 5		
20. 政治：日本の政治の現状と問題 2	60. 現代社会：現代の民主政治 6		
21. 政治：日本の政治の現状と問題 3	61. 現代社会：現代社会と私たち 1		
22. 政治：日本の政治の現状と問題 4	62. 現代社会：現代社会と私たち 2		
23. 政治：日本の政治の現状と問題 5	63. 現代社会：現代社会と私たち 3		
24. 政治：日本の政治の現状と問題 6	64. 現代社会：現代社会と私たち 4		
25. 政治：国際社会 1	65. 現代社会：現代社会と私たち 5		
26. 政治：国際社会 2	66. 現代社会：国際社会の動向と日本 1		
27. 政治：国際社会 3	67. 現代社会：国際社会の動向と日本 2		
28. 政治：国際社会 4	68. 現代社会：国際社会の動向と日本 3		
29. 政治：国際社会 5	69. 現代社会：国際社会の動向と日本 4		
30. 政治：国際社会 6	70. 現代社会：国際社会の動向と日本 5		
31. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 1	71. 憲法：憲法前文～第 103 条 1		
32. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 2	72. 憲法：憲法前文～第 103 条 2		
33. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 3	73. 憲法：憲法前文～第 103 条 3		
34. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 4	74. 憲法：憲法前文～第 103 条 4		
35. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 5	75. 憲法：憲法前文～第 103 条 5		
36. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 6	76. 憲法：法学概論 1		
37. 経済：経済のしくみ（2） 1	77. 憲法：法学概論 2		
38. 経済：経済のしくみ（2） 2	78. 憲法：法学概論 3		
39. 経済：経済のしくみ（2） 3	79. 憲法：法学概論 4		
40. 経済：経済のしくみ（2） 4	80. 憲法：法学概論 5		
〔テキスト〕			
社会科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト等、学期末試験を総合して判断する。			

科目名：社会科学研究 I	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：前期	種類：一般科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>法学および政治・経済分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指し、さらに総合的理解を深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。</p>			
〔講義・演習項目〕			
1. 政治：民主政治の基本原則 1	21. 経済：経済のしくみ（2） 3		
2. 政治：民主政治の基本原則 2	22. 経済：経済の発展と福祉の向上 1		
3. 政治：民主政治の基本原則 3	23. 経済：経済の発展と福祉の向上 2		
4. 政治：日本国憲法の基本的性格 1	24. 経済：経済の発展と福祉の向上 3		
5. 政治：日本国憲法の基本的性格 2	25. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 1		
6. 政治：日本国憲法の基本的性格 3	26. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 2		
7. 政治：日本の統治機構 1	27. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 3		
8. 政治：日本の統治機構 2	28. 現代社会：現代の民主政治 1		
9. 政治：日本の統治機構 3	29. 現代社会：現代の民主政治 2		
10. 政治：日本の政治の現状と問題 1	30. 現代社会：現代の民主政治 3		
11. 政治：日本の政治の現状と問題 2	31. 現代社会：現代社会と私たち 1		
12. 政治：日本の政治の現状と問題 3	32. 現代社会：現代社会と私たち 2		
13. 政治：国際社会 1	33. 現代社会：国際社会の動向と日本 1		
14. 政治：国際社会 2	34. 現代社会：国際社会の動向と日本 2		
15. 政治：国際社会 3	35. 憲法：憲法前文～第 103 条 1		
16. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 1	36. 憲法：憲法前文～第 103 条 2		
17. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 2	37. 憲法：憲法前文～第 103 条 3		
18. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 3	38. 憲法：法学概論 1		
19. 経済：経済のしくみ（2） 1	39. 憲法：法学概論 2		
20. 経済：経済のしくみ（2） 2	40. 憲法：法学概論 3		
〔テキスト〕			
<p>社会科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。</p>			
〔成績評価〕			
<p>授業期間中に実施される種々のテスト等、学期末試験を総合して判断する。</p>			

科目名：人文科学研究	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：前期	種類：一般科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
日本史、国語、世界史、地理等の人文科学に関する総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 日本史：古代	21. 世界史：古代文明		
2. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代	22. 世界史：東アジア文化圏の形成		
3. 日本史：室町・安土桃山時代1	23. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝1		
4. 日本史：室町・安土桃山時代2	24. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝2		
5. 日本史：江戸時代（1）	25. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動1		
6. 日本史：江戸時代（2）	26. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動2		
7. 日本史：江戸時代（3）・明治時代（1）	27. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政		
8. 日本史：明治時代（2）・大正時代（1）	28. 世界史：市民社会の成立と近代国家		
9. 日本史：大正時代（2）・昭和時代（1）	29. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺		
10. 日本史：昭和時代（2）	30. 世界史：世界大戦前後の世界		
11. 国語：四字熟語	31. 地理：現代世界の地理的考察1		
12. 国語：故事成語	32. 地理：現代世界の地理的考察2		
13. 国語：慣用句	33. 地理：地形と気候1		
14. 国語：ことわざ	34. 地理：地形と気候2		
15. 国語：難読語	35. 地理：農業・漁業・林業1		
16. 国語：同音異義語1	36. 地理：農業・漁業・林業2		
17. 国語：同音異義語2	37. 地理：鉱工業・貿易1		
18. 国語：同訓異義語1	38. 地理：鉱工業・貿易2		
19. 国語：同訓異義語2	39. 地理：現代世界の地誌的考察（1）		
20. 国語：誤りやすいことば	40. 地理：現代世界の地誌的考察（2）		
〔テキスト〕			
人文科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト等、学期末試験を総合して判断する。			

科目名：自然科学研究	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：前期	種類：一般科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
数学・物理・化学・生物・地学分野の自然科学に関する総合的理解を深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 数学：数と式	21. 化学：物質を構成する粒子 2		
2. 数学：方程式	22. 化学：物質の変化 1		
3. 数学：不等式	23. 化学：物質の変化 2		
4. 数学：関数 1	24. 化学：イオン化傾向・非金属元素		
5. 数学：関数 2	25. 化学：金属元素		
6. 数学：平面と座標 1	26. 化学：有機化合物		
7. 数学：平面と座標 2	27. 生物：動物の行動・生物の進化		
8. 数学：角と三角形 1	28. 生物：細胞と組織		
9. 数学：角と三角形 2	29. 生物：酵素の働き・光合成 1		
10. 物理：力と運動の法則 1	30. 生物：酵素の働き・光合成 2		
11. 物理：力と運動の法則 2	31. 生物：生物体のつくり		
12. 物理：物体の運動 1	32. 生物：ホルモン・環境と植物 1		
13. 物理：物体の運動 2	33. 生物：ホルモン・環境と植物 2		
14. 物理：エネルギー	34. 生物：遺伝 1		
15. 物理：波動	35. 生物：遺伝 2		
16. 物理：電気・磁気 1	36. 地学：地球の姿・地表の変化 1		
17. 物理：電気・磁気 2	37. 地学：地球の姿・地表の変化 2		
18. 化学：物質の構成 1	38. 地学：地層・地殻・大気・海洋 1		
19. 化学：物質の構成 2	39. 地学：地層・地殻・大気・海洋 2		
20. 化学：物質を構成する粒子 1	40. 地学：宇宙の構成		
〔テキスト〕			
自然科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト等、学期末試験を総合して判断する。			

科目名：論作文研究	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：前期	種類：一般科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕 社会人としての心構えや社会常識、論理的思考力・判断力・分析力および感受性・表現力の基本を、文章を書くことによって養うことを目指す。			
〔講義・演習項目〕			
1. 社会人像に関する基本的課題 1	21. 社会人像に関する基本的課題 11		
2. 社会人像に関する基本的課題 2	22. 社会人像に関する基本的課題 12		
3. 社会人像に関する基本的課題 3	23. 学校生活に関する基本的課題 6		
4. 社会人像に関する基本的課題 4	24. 学校生活に関する基本的課題 7		
5. 社会人像に関する基本的課題 5	25. 学校生活に関する基本的課題 8		
6. 学校生活に関する基本的課題 1	26. 学校生活に関する基本的課題 9		
7. 学校生活に関する基本的課題 2	27. 学校生活に関する基本的課題 10		
8. 学校生活に関する基本的課題 3	28. 学校生活に関する基本的課題 11		
9. 学校生活に関する基本的課題 4	29. 学校生活に関する基本的課題 12		
10. 学校生活に関する基本的課題 5	30. 人生観・生き方に関する基本的課題 6		
11. 人生観・生き方に関する基本的課題 1	31. 人生観・生き方に関する基本的課題 7		
12. 人生観・生き方に関する基本的課題 2	32. 人生観・生き方に関する基本的課題 8		
13. 人生観・生き方に関する基本的課題 3	33. 人生観・生き方に関する基本的課題 9		
14. 人生観・生き方に関する基本的課題 4	34. 人生観・生き方に関する基本的課題 10		
15. 人生観・生き方に関する基本的課題 5	35. 人生観・生き方に関する基本的課題 11		
16. 社会人像に関する基本的課題 6	36. 人生観・生き方に関する基本的課題 12		
17. 社会人像に関する基本的課題 7	37. 総合的課題 1		
18. 社会人像に関する基本的課題 8	38. 総合的課題 2		
19. 社会人像に関する基本的課題 9	39. 総合的課題 3		
20. 社会人像に関する基本的課題 10	40. 総合的課題 4		
〔テキスト〕 論作文に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：時事問題研究	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：前期	種類：一般科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕 最新の国内・外の主要な時事問題について、時事用語の理解に重点をおきながら分析し、理解を深めることを目指す。			
〔講義・演習項目〕			
1. 政治・経済分野 1	21. 科学・技術分野 1		
2. 政治・経済分野 2	22. 科学・技術分野 2		
3. 政治・経済分野 3	23. 科学・技術分野 3		
4. 政治・経済分野 4	24. 科学・技術分野 4		
5. 政治・経済分野 5	25. 科学・技術分野 5		
6. 国際関係分野 1	26. 自然・環境分野 1		
7. 国際関係分野 2	27. 自然・環境分野 2		
8. 国際関係分野 3	28. 自然・環境分野 3		
9. 国際関係分野 4	29. 自然・環境分野 4		
10. 国際関係分野 5	30. 自然・環境分野 5		
11. 社会・生活分野 1	31. 文化・スポーツ分野 1		
12. 社会・生活分野 2	32. 文化・スポーツ分野 2		
13. 社会・生活分野 3	33. 文化・スポーツ分野 3		
14. 社会・生活分野 4	34. 文化・スポーツ分野 4		
15. 社会・生活分野 5	35. 文化・スポーツ分野 5		
16. 産業・労働分野 1	36. 総合 1		
17. 産業・労働分野 2	37. 総合 2		
18. 産業・労働分野 3	38. 総合 3		
19. 産業・労働分野 4	39. 総合 4		
20. 産業・労働分野 5	40. 総合 5		
〔テキスト〕 時事用語集、種々のプリントを中心とする。			
〔成績評価〕 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

<p>科目名： 職業実務研究Ⅱ A</p>	<p>開講年次： 1年 授業時数： 20 単位数： 1 開講学期： 通年 種類： 専門科目 分類： 選択必修 授業方法： 演習 担当教員： 実務経験のある教員（人材育成会社社員）</p> <p>〔担当教員紹介〕 担当教員は、人材育成会社の社員である。公務員として社会で活躍するために、ストレスに対応できる人材に関する講義のほか、グループワークを通じてストレスの原因とその対応について実践的に授業をする。あわせて、接客等の実務経験に基づいてビジネスマナー向上のためクレーム対応の授業を展開する。</p>																				
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>社会人として社会で活躍するために、ストレスに対応できる人材を育成する。ストレスの種類や原因、対策方法を事例から学び、ストレス社会で活躍できる社会人の方向性を学ぶことを目的とする。</p> <p>気遣い・気働きを通じた社会人としてのスキルを習得する実践的な授業を行い、社会人になるにあたっての心構えとともに社会人としてのスキル習得することを目標とし、クレーム対応のスキルを学んでいく。</p>																					
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ストレスの自己分析・TA分析①</td> <td>11. 説明力の重要性</td> </tr> <tr> <td>2. ストレスの自己分析・TA分析②</td> <td>12. 交渉力の重要性</td> </tr> <tr> <td>3. ストレスの原因①</td> <td>13. 問題解決力の重要性</td> </tr> <tr> <td>4. ストレスの原因②</td> <td>14. コミュニケーション能力アップ</td> </tr> <tr> <td>5. ストレスの対策①</td> <td>15. 聞き方のスキルアップ</td> </tr> <tr> <td>6. ストレスの対策②</td> <td>16. 話し方のスキルアップ</td> </tr> <tr> <td>7. ストレスに強い社会人とは</td> <td>17. クレームの種類</td> </tr> <tr> <td>8. 自己表現ワーク①</td> <td>18. クレームになってしまう原因</td> </tr> <tr> <td>9. 自己表現ワーク②</td> <td>19. クレームの対処法</td> </tr> <tr> <td>10. 気遣い・気働きについて</td> <td>20. レポート作成、理解度確認テスト</td> </tr> </table>		1. ストレスの自己分析・TA分析①	11. 説明力の重要性	2. ストレスの自己分析・TA分析②	12. 交渉力の重要性	3. ストレスの原因①	13. 問題解決力の重要性	4. ストレスの原因②	14. コミュニケーション能力アップ	5. ストレスの対策①	15. 聞き方のスキルアップ	6. ストレスの対策②	16. 話し方のスキルアップ	7. ストレスに強い社会人とは	17. クレームの種類	8. 自己表現ワーク①	18. クレームになってしまう原因	9. 自己表現ワーク②	19. クレームの対処法	10. 気遣い・気働きについて	20. レポート作成、理解度確認テスト
1. ストレスの自己分析・TA分析①	11. 説明力の重要性																				
2. ストレスの自己分析・TA分析②	12. 交渉力の重要性																				
3. ストレスの原因①	13. 問題解決力の重要性																				
4. ストレスの原因②	14. コミュニケーション能力アップ																				
5. ストレスの対策①	15. 聞き方のスキルアップ																				
6. ストレスの対策②	16. 話し方のスキルアップ																				
7. ストレスに強い社会人とは	17. クレームの種類																				
8. 自己表現ワーク①	18. クレームになってしまう原因																				
9. 自己表現ワーク②	19. クレームの対処法																				
10. 気遣い・気働きについて	20. レポート作成、理解度確認テスト																				
<p>〔テキスト〕</p> <p>企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																					
<p>〔成績評価〕</p> <p>企業等による講義・演習終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>																					

<p>科目名： 職業実務研究ⅡB</p>	<p>開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1 開講学期：通年 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：実務経験のある教員（聴覚障害協会役員） （行政書士） （千葉県警察職員）</p> <p>〔担当教員紹介〕 担当教員の一人は聴覚障害協会の役員であり、聴覚障害者について適切な理解を有する社会人の養成に向けた授業を展開する。 もう一人は現役の行政書士であり、業務遂行上のさまざまな実体験を基に、成年後見制度の在り方につき、実践的に授業する。 千葉県警察職員は、警察が行う犯罪被害者支援の取り組みについて、実践的に授業する。</p>																				
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>聴覚に障害を持った方の現状を把握したうえで、ノーマライゼーションやインクルージョンといった適切な障害者福祉のあり方を理解することを目標とする。 今後ますます重要になってくる成年後見制度について、実際の事例を基にして、制度の基礎知識や手続、問題点や対処法を実践的に学ぶ。また、犯罪被害者支援制度について学び、犯罪被害者に対する取り組みについて制度の基礎知識や手続など実践的に学ぶ。</p>																					
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 聴覚に障害のある方の現状1</td> <td>11. 被害者支援要員制度について</td> </tr> <tr> <td>2. 聴覚に障害のある方の現状2</td> <td>12. 民間団体との連携</td> </tr> <tr> <td>3. 聴覚に障害のある方の現状3</td> <td>13. 犯罪被害者支援に対する警察の取り組み</td> </tr> <tr> <td>4. 手話講習1</td> <td>14. レポート作成</td> </tr> <tr> <td>5. 手話講習2</td> <td>15. 判断能力の喪失・衰えへの備え</td> </tr> <tr> <td>6. 手話講習3</td> <td>16. 成年後見制度について1</td> </tr> <tr> <td>7. レポート作成</td> <td>17. 成年後見制度について2</td> </tr> <tr> <td>8. 犯罪被害者支援とは</td> <td>18. 外国人にまつわる手続1</td> </tr> <tr> <td>9. 援助・救済制度について</td> <td>19. 外国人にまつわる手続2</td> </tr> <tr> <td>10. 被害者連絡制度について</td> <td>20. レポート作成</td> </tr> </table>		1. 聴覚に障害のある方の現状1	11. 被害者支援要員制度について	2. 聴覚に障害のある方の現状2	12. 民間団体との連携	3. 聴覚に障害のある方の現状3	13. 犯罪被害者支援に対する警察の取り組み	4. 手話講習1	14. レポート作成	5. 手話講習2	15. 判断能力の喪失・衰えへの備え	6. 手話講習3	16. 成年後見制度について1	7. レポート作成	17. 成年後見制度について2	8. 犯罪被害者支援とは	18. 外国人にまつわる手続1	9. 援助・救済制度について	19. 外国人にまつわる手続2	10. 被害者連絡制度について	20. レポート作成
1. 聴覚に障害のある方の現状1	11. 被害者支援要員制度について																				
2. 聴覚に障害のある方の現状2	12. 民間団体との連携																				
3. 聴覚に障害のある方の現状3	13. 犯罪被害者支援に対する警察の取り組み																				
4. 手話講習1	14. レポート作成																				
5. 手話講習2	15. 判断能力の喪失・衰えへの備え																				
6. 手話講習3	16. 成年後見制度について1																				
7. レポート作成	17. 成年後見制度について2																				
8. 犯罪被害者支援とは	18. 外国人にまつわる手続1																				
9. 援助・救済制度について	19. 外国人にまつわる手続2																				
10. 被害者連絡制度について	20. レポート作成																				
<p>〔テキスト〕</p> <p>企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																					
<p>〔成績評価〕</p> <p>企業等による講義・演習終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>																					

<p>科目名： 職業実務研究ⅡC</p>	<p>開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1 開講学期：通年 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：実務経験のある教員（人材育成会社社員） 〔担当教員紹介〕 キャリアコンサルタントである人材育成会社社員で、学生のキャリア形成に対して実践的な授業を展開する。</p>																				
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>社会人として必要とされる力を理解させ、業界関係者を招いての業界研究を通じて、学生が就職後のキャリア形成についても考えられるようにする。</p>																					
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. ガイダンス</td> <td style="width: 50%;">11. 業界研究⑤</td> </tr> <tr> <td>2. 社会人として必要とされる能力①</td> <td>12. 業界研究⑥</td> </tr> <tr> <td>3. 社会人として必要とされる能力②</td> <td>13. 業界研究⑦</td> </tr> <tr> <td>4. 社会人として必要とされる能力③</td> <td>14. 業界研究⑧</td> </tr> <tr> <td>5. 社会人として必要とされる能力④</td> <td>15. 業界研究⑨</td> </tr> <tr> <td>6. 社会人として必要とされる能力⑤</td> <td>16. 業界研究⑩</td> </tr> <tr> <td>7. 業界研究①</td> <td>17. 就職後のキャリア形成①</td> </tr> <tr> <td>8. 業界研究②</td> <td>18. 就職後のキャリア形成②</td> </tr> <tr> <td>9. 業界研究③</td> <td>19. 就職後のキャリア形成③</td> </tr> <tr> <td>10. 業界研究④</td> <td>20. 就職後のキャリア形成④</td> </tr> </table>		1. ガイダンス	11. 業界研究⑤	2. 社会人として必要とされる能力①	12. 業界研究⑥	3. 社会人として必要とされる能力②	13. 業界研究⑦	4. 社会人として必要とされる能力③	14. 業界研究⑧	5. 社会人として必要とされる能力④	15. 業界研究⑨	6. 社会人として必要とされる能力⑤	16. 業界研究⑩	7. 業界研究①	17. 就職後のキャリア形成①	8. 業界研究②	18. 就職後のキャリア形成②	9. 業界研究③	19. 就職後のキャリア形成③	10. 業界研究④	20. 就職後のキャリア形成④
1. ガイダンス	11. 業界研究⑤																				
2. 社会人として必要とされる能力①	12. 業界研究⑥																				
3. 社会人として必要とされる能力②	13. 業界研究⑦																				
4. 社会人として必要とされる能力③	14. 業界研究⑧																				
5. 社会人として必要とされる能力④	15. 業界研究⑨																				
6. 社会人として必要とされる能力⑤	16. 業界研究⑩																				
7. 業界研究①	17. 就職後のキャリア形成①																				
8. 業界研究②	18. 就職後のキャリア形成②																				
9. 業界研究③	19. 就職後のキャリア形成③																				
10. 業界研究④	20. 就職後のキャリア形成④																				
<p>〔テキスト〕</p> <p>企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																					
<p>〔成績評価〕</p> <p>企業等による講義・演習終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>																					

<p>科目名： 職業実務研究ⅡD</p>	<p>開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1 開講学期：通年 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：実務経験のある教員（社会保険労務士） （税理士）</p> <p>〔担当教員紹介〕 担当教員の一人は社会保険労務士であり、社会保険や年金につき、実務に基づく実践的な授業を行う。 もう一人は税理士であり、税金につき実務に基づく実践的な授業を行う。</p>																				
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>社会保険、年金や税金については社会人として知っておかなければならない事柄であるが、学生のうちにそれを学ぶ機会はほとんどない。そこで、それぞれの実務に精通した担当講師が、実例に基づいてわかりやすく解説をし、それらの必要性・重要性を理解し、社会に出て困らないような知識を修得する。</p>																					
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 社会保険とは何か1</td> <td>11. 税金の種類と分類1</td> </tr> <tr> <td>2. 社会保険とは何か2</td> <td>12. 税金の種類と分類2</td> </tr> <tr> <td>3. 社会保障の種類1</td> <td>13. 税金の必要性・重要性1</td> </tr> <tr> <td>4. 社会保障の種類2</td> <td>14. 税金の必要性・重要性2</td> </tr> <tr> <td>5. 年金保険について1</td> <td>15. 税金の仕組み1</td> </tr> <tr> <td>6. 年金保険について2</td> <td>16. 税金の仕組み2</td> </tr> <tr> <td>7. その他の社会保険1</td> <td>17. 税金を実際に計算してみる1</td> </tr> <tr> <td>8. その他の社会保険2</td> <td>18. 税金を実際に計算してみる2</td> </tr> <tr> <td>9. 受講後レポート作成・発表</td> <td>19. 受講後レポート作成・発表</td> </tr> <tr> <td>10. 理解度確認テストを実施</td> <td>20. 理解度確認テストを実施</td> </tr> </table>		1. 社会保険とは何か1	11. 税金の種類と分類1	2. 社会保険とは何か2	12. 税金の種類と分類2	3. 社会保障の種類1	13. 税金の必要性・重要性1	4. 社会保障の種類2	14. 税金の必要性・重要性2	5. 年金保険について1	15. 税金の仕組み1	6. 年金保険について2	16. 税金の仕組み2	7. その他の社会保険1	17. 税金を実際に計算してみる1	8. その他の社会保険2	18. 税金を実際に計算してみる2	9. 受講後レポート作成・発表	19. 受講後レポート作成・発表	10. 理解度確認テストを実施	20. 理解度確認テストを実施
1. 社会保険とは何か1	11. 税金の種類と分類1																				
2. 社会保険とは何か2	12. 税金の種類と分類2																				
3. 社会保障の種類1	13. 税金の必要性・重要性1																				
4. 社会保障の種類2	14. 税金の必要性・重要性2																				
5. 年金保険について1	15. 税金の仕組み1																				
6. 年金保険について2	16. 税金の仕組み2																				
7. その他の社会保険1	17. 税金を実際に計算してみる1																				
8. その他の社会保険2	18. 税金を実際に計算してみる2																				
9. 受講後レポート作成・発表	19. 受講後レポート作成・発表																				
10. 理解度確認テストを実施	20. 理解度確認テストを実施																				
<p>〔テキスト〕</p> <p>企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																					
<p>〔成績評価〕</p> <p>企業等による講義・演習終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>																					

<p>科目名： 職業実務研究ⅣA</p>	<p>開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1 開講学期：通年 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：実務経験のある教員（弁護士） 〔担当教員紹介〕 担当教員は、現場の第一線で活躍している弁護士であり、法律の実務家の観点から、司法試験型の事例問題演習を通して学生の起案能力の養成に努めるとともに、法実務の実践的教育を踏まえた授業を展開する。</p>																				
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>職業実務Ⅳは、法律実務経験者が、答案作成に求められる思考力や表現力の基礎づくりを支援し、事例問題演習に対する起案能力の養成を目指す。</p>																					
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 憲法の論点・基礎知識の解説1</td> <td>11. 作成された答案を使用した解説・分析①1</td> </tr> <tr> <td>2. 憲法の論点・基礎知識の解説2</td> <td>12. 作成された答案を使用した解説・分析①2</td> </tr> <tr> <td>3. 憲法の法的議論の進め方1</td> <td>13. 答案の作成②1</td> </tr> <tr> <td>4. 憲法の法的議論の進め方2</td> <td>14. 答案の作成②2</td> </tr> <tr> <td>5. 憲法の法的議論の進め方3</td> <td>15. 作成された答案を使用した解説・分析②1</td> </tr> <tr> <td>6. 憲法という「制度」の仕組み・考え方1</td> <td>16. 作成された答案を使用した解説・分析②2</td> </tr> <tr> <td>7. 憲法という「制度」の仕組み・考え方2</td> <td>17. 答案の作成③1</td> </tr> <tr> <td>8. 憲法という「制度」の仕組み・考え方3</td> <td>18. 答案の作成③2</td> </tr> <tr> <td>9. 答案の作成①1</td> <td>19. 作成された答案を使用した解説・分析③1</td> </tr> <tr> <td>10. 答案の作成①2</td> <td>20. 作成された答案を使用した解説・分析③2</td> </tr> </table>		1. 憲法の論点・基礎知識の解説1	11. 作成された答案を使用した解説・分析①1	2. 憲法の論点・基礎知識の解説2	12. 作成された答案を使用した解説・分析①2	3. 憲法の法的議論の進め方1	13. 答案の作成②1	4. 憲法の法的議論の進め方2	14. 答案の作成②2	5. 憲法の法的議論の進め方3	15. 作成された答案を使用した解説・分析②1	6. 憲法という「制度」の仕組み・考え方1	16. 作成された答案を使用した解説・分析②2	7. 憲法という「制度」の仕組み・考え方2	17. 答案の作成③1	8. 憲法という「制度」の仕組み・考え方3	18. 答案の作成③2	9. 答案の作成①1	19. 作成された答案を使用した解説・分析③1	10. 答案の作成①2	20. 作成された答案を使用した解説・分析③2
1. 憲法の論点・基礎知識の解説1	11. 作成された答案を使用した解説・分析①1																				
2. 憲法の論点・基礎知識の解説2	12. 作成された答案を使用した解説・分析①2																				
3. 憲法の法的議論の進め方1	13. 答案の作成②1																				
4. 憲法の法的議論の進め方2	14. 答案の作成②2																				
5. 憲法の法的議論の進め方3	15. 作成された答案を使用した解説・分析②1																				
6. 憲法という「制度」の仕組み・考え方1	16. 作成された答案を使用した解説・分析②2																				
7. 憲法という「制度」の仕組み・考え方2	17. 答案の作成③1																				
8. 憲法という「制度」の仕組み・考え方3	18. 答案の作成③2																				
9. 答案の作成①1	19. 作成された答案を使用した解説・分析③1																				
10. 答案の作成①2	20. 作成された答案を使用した解説・分析③2																				
<p>〔テキスト〕</p> <p>担当教員が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																					
<p>〔成績評価〕</p> <p>講義・演習終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>																					

<p>科目名： 職業実務研究ⅣB</p>	<p>開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1 開講学期：通年 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：実務経験のある教員（弁護士） 〔担当教員紹介〕 担当教員は、現場の第一線で活躍している弁護士であり、法律の実務家の観点から、司法試験型の事例問題演習を通して学生の起案能力の養成に努めるとともに、法実務の実践的教育を踏まえた授業を展開する。</p>																				
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>職業実務Ⅳは、法律実務経験者が、答案作成に求められる思考力や表現力の基礎づくりを支援し、事例問題演習に対する起案能力の養成を目指す。</p>																					
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 民法の論点・基礎知識の解説1</td> <td style="width: 50%;">11. 作成された答案を使用した解説・分析①1</td> </tr> <tr> <td>2. 民法の論点・基礎知識の解説2</td> <td>12. 作成された答案を使用した解説・分析①2</td> </tr> <tr> <td>3. 民法の法的議論の進め方1</td> <td>13. 答案の作成②1</td> </tr> <tr> <td>4. 民法の法的議論の進め方2</td> <td>14. 答案の作成②2</td> </tr> <tr> <td>5. 民法の法的議論の進め方3</td> <td>15. 作成された答案を使用した解説・分析②1</td> </tr> <tr> <td>6. 民法の答案作成のために必要な論点の分析1</td> <td>16. 作成された答案を使用した解説・分析②2</td> </tr> <tr> <td>7. 民法の答案作成のために必要な論点の分析2</td> <td>17. 答案の作成③1</td> </tr> <tr> <td>8. 民法の答案作成のために必要な論点の分析3</td> <td>18. 答案の作成③2</td> </tr> <tr> <td>9. 答案の作成①1</td> <td>19. 作成された答案を使用した解説・分析③1</td> </tr> <tr> <td>10. 答案の作成①2</td> <td>20. 作成された答案を使用した解説・分析③2</td> </tr> </table>		1. 民法の論点・基礎知識の解説1	11. 作成された答案を使用した解説・分析①1	2. 民法の論点・基礎知識の解説2	12. 作成された答案を使用した解説・分析①2	3. 民法の法的議論の進め方1	13. 答案の作成②1	4. 民法の法的議論の進め方2	14. 答案の作成②2	5. 民法の法的議論の進め方3	15. 作成された答案を使用した解説・分析②1	6. 民法の答案作成のために必要な論点の分析1	16. 作成された答案を使用した解説・分析②2	7. 民法の答案作成のために必要な論点の分析2	17. 答案の作成③1	8. 民法の答案作成のために必要な論点の分析3	18. 答案の作成③2	9. 答案の作成①1	19. 作成された答案を使用した解説・分析③1	10. 答案の作成①2	20. 作成された答案を使用した解説・分析③2
1. 民法の論点・基礎知識の解説1	11. 作成された答案を使用した解説・分析①1																				
2. 民法の論点・基礎知識の解説2	12. 作成された答案を使用した解説・分析①2																				
3. 民法の法的議論の進め方1	13. 答案の作成②1																				
4. 民法の法的議論の進め方2	14. 答案の作成②2																				
5. 民法の法的議論の進め方3	15. 作成された答案を使用した解説・分析②1																				
6. 民法の答案作成のために必要な論点の分析1	16. 作成された答案を使用した解説・分析②2																				
7. 民法の答案作成のために必要な論点の分析2	17. 答案の作成③1																				
8. 民法の答案作成のために必要な論点の分析3	18. 答案の作成③2																				
9. 答案の作成①1	19. 作成された答案を使用した解説・分析③1																				
10. 答案の作成①2	20. 作成された答案を使用した解説・分析③2																				
<p>〔テキスト〕</p> <p>担当教員が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																					
<p>〔成績評価〕</p> <p>講義・演習終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>																					

<p>科目名： 職業実務研究ⅣC</p>	<p>開講年次： 1年 授業時数： 20 単位数： 1 開講学期： 通年 種類： 専門科目 分類： 選択必修 授業方法： 演習 担当教員： 実務経験のある教員（弁護士） 〔担当教員紹介〕 担当教員は、現場の第一線で活躍している弁護士であり、法律の実務家の観点から、司法試験型の事例問題演習を通して学生の起案能力の養成に努めるとともに、法実務の実践的教育を踏まえた授業を展開する。</p>																				
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>職業実務Ⅳは、法律実務経験者が、答案作成に求められる思考力や表現力の基礎づくりを支援し、事例問題演習に対する起案能力の養成を目指す。</p>																					
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 刑法の論点・基礎知識の解説 1</td> <td>11. 作成された答案を使用した解説・分析① 1</td> </tr> <tr> <td>2. 刑法の論点・基礎知識の解説 2</td> <td>12. 作成された答案を使用した解説・分析① 2</td> </tr> <tr> <td>3. 刑法の法的議論の進め方 1</td> <td>13. 答案の作成② 1</td> </tr> <tr> <td>4. 刑法の法的議論の進め方 2</td> <td>14. 答案の作成② 2</td> </tr> <tr> <td>5. 刑法の法的議論の進め方 3</td> <td>15. 作成された答案を使用した解説・分析② 1</td> </tr> <tr> <td>6. 刑法という「制度」の仕組み・考え方 1</td> <td>16. 作成された答案を使用した解説・分析② 2</td> </tr> <tr> <td>7. 刑法という「制度」の仕組み・考え方 2</td> <td>17. 答案の作成③ 1</td> </tr> <tr> <td>8. 刑法という「制度」の仕組み・考え方 3</td> <td>18. 答案の作成③ 2</td> </tr> <tr> <td>9. 答案の作成① 1</td> <td>19. 作成された答案を使用した解説・分析③ 1</td> </tr> <tr> <td>10. 答案の作成① 2</td> <td>20. 作成された答案を使用した解説・分析③ 2</td> </tr> </table>		1. 刑法の論点・基礎知識の解説 1	11. 作成された答案を使用した解説・分析① 1	2. 刑法の論点・基礎知識の解説 2	12. 作成された答案を使用した解説・分析① 2	3. 刑法の法的議論の進め方 1	13. 答案の作成② 1	4. 刑法の法的議論の進め方 2	14. 答案の作成② 2	5. 刑法の法的議論の進め方 3	15. 作成された答案を使用した解説・分析② 1	6. 刑法という「制度」の仕組み・考え方 1	16. 作成された答案を使用した解説・分析② 2	7. 刑法という「制度」の仕組み・考え方 2	17. 答案の作成③ 1	8. 刑法という「制度」の仕組み・考え方 3	18. 答案の作成③ 2	9. 答案の作成① 1	19. 作成された答案を使用した解説・分析③ 1	10. 答案の作成① 2	20. 作成された答案を使用した解説・分析③ 2
1. 刑法の論点・基礎知識の解説 1	11. 作成された答案を使用した解説・分析① 1																				
2. 刑法の論点・基礎知識の解説 2	12. 作成された答案を使用した解説・分析① 2																				
3. 刑法の法的議論の進め方 1	13. 答案の作成② 1																				
4. 刑法の法的議論の進め方 2	14. 答案の作成② 2																				
5. 刑法の法的議論の進め方 3	15. 作成された答案を使用した解説・分析② 1																				
6. 刑法という「制度」の仕組み・考え方 1	16. 作成された答案を使用した解説・分析② 2																				
7. 刑法という「制度」の仕組み・考え方 2	17. 答案の作成③ 1																				
8. 刑法という「制度」の仕組み・考え方 3	18. 答案の作成③ 2																				
9. 答案の作成① 1	19. 作成された答案を使用した解説・分析③ 1																				
10. 答案の作成① 2	20. 作成された答案を使用した解説・分析③ 2																				
<p>〔テキスト〕</p> <p>担当教員が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																					
<p>〔成績評価〕</p> <p>講義・演習終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>																					

<p>科目名： 職業実務研究ⅣD</p>	<p>開講年次： 1年 授業時数： 20 単位数： 1 開講学期： 通年 種類： 専門科目 分類： 選択必修 授業方法： 演習 担当教員： 実務経験のある教員（弁護士） 〔担当教員紹介〕 担当教員は、現場の第一線で活躍している弁護士であり、法律の実務家の観点から、司法試験型の事例問題演習を通して学生の起案能力の養成に努めるとともに、法実務の実践的教育を踏まえた授業を展開する。</p>																				
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>職業実務Ⅳは、法律実務経験者が、答案作成に求められる思考力や表現力の基礎づくりを支援し、事例問題演習に対する起案能力の養成を目指す。</p>																					
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 民事訴訟法の基礎、論点・基礎知識の解説 1</td> <td>11. 刑事訴訟法の基礎、論点・基礎知識の解説 1</td> </tr> <tr> <td>2. 民事訴訟法の基礎、論点・基礎知識の解説 2</td> <td>12. 刑事訴訟法の基礎、論点・基礎知識の解説 2</td> </tr> <tr> <td>3. 民事訴訟法の法的議論の進め方 1</td> <td>13. 刑事訴訟法の法的議論の進め方 1</td> </tr> <tr> <td>4. 民事訴訟法の法的議論の進め方 2</td> <td>14. 刑事訴訟法の法的議論の進め方 2</td> </tr> <tr> <td>5. 民事訴訟法の答案作成のために必要な論点の分析 1</td> <td>15. 刑事訴訟法の答案作成のために必要な論点の分析 1</td> </tr> <tr> <td>6. 民事訴訟法の答案作成のために必要な論点の分析 2</td> <td>16. 刑事訴訟法の答案作成のために必要な論点の分析 2</td> </tr> <tr> <td>7. 民事訴訟法の答案作成 1</td> <td>17. 刑事訴訟法の答案作成 1</td> </tr> <tr> <td>8. 民事訴訟法の答案作成 2</td> <td>18. 刑事訴訟法の答案作成 2</td> </tr> <tr> <td>9. 民事訴訟法の作成された答案を使用した解説・分析 1</td> <td>19. 刑事訴訟法の作成された答案を使用した解説・分析 1</td> </tr> <tr> <td>10. 民事訴訟法の作成された答案を使用した解説・分析 2</td> <td>20. 刑事訴訟法の作成された答案を使用した解説・分析 2</td> </tr> </table>		1. 民事訴訟法の基礎、論点・基礎知識の解説 1	11. 刑事訴訟法の基礎、論点・基礎知識の解説 1	2. 民事訴訟法の基礎、論点・基礎知識の解説 2	12. 刑事訴訟法の基礎、論点・基礎知識の解説 2	3. 民事訴訟法の法的議論の進め方 1	13. 刑事訴訟法の法的議論の進め方 1	4. 民事訴訟法の法的議論の進め方 2	14. 刑事訴訟法の法的議論の進め方 2	5. 民事訴訟法の答案作成のために必要な論点の分析 1	15. 刑事訴訟法の答案作成のために必要な論点の分析 1	6. 民事訴訟法の答案作成のために必要な論点の分析 2	16. 刑事訴訟法の答案作成のために必要な論点の分析 2	7. 民事訴訟法の答案作成 1	17. 刑事訴訟法の答案作成 1	8. 民事訴訟法の答案作成 2	18. 刑事訴訟法の答案作成 2	9. 民事訴訟法の作成された答案を使用した解説・分析 1	19. 刑事訴訟法の作成された答案を使用した解説・分析 1	10. 民事訴訟法の作成された答案を使用した解説・分析 2	20. 刑事訴訟法の作成された答案を使用した解説・分析 2
1. 民事訴訟法の基礎、論点・基礎知識の解説 1	11. 刑事訴訟法の基礎、論点・基礎知識の解説 1																				
2. 民事訴訟法の基礎、論点・基礎知識の解説 2	12. 刑事訴訟法の基礎、論点・基礎知識の解説 2																				
3. 民事訴訟法の法的議論の進め方 1	13. 刑事訴訟法の法的議論の進め方 1																				
4. 民事訴訟法の法的議論の進め方 2	14. 刑事訴訟法の法的議論の進め方 2																				
5. 民事訴訟法の答案作成のために必要な論点の分析 1	15. 刑事訴訟法の答案作成のために必要な論点の分析 1																				
6. 民事訴訟法の答案作成のために必要な論点の分析 2	16. 刑事訴訟法の答案作成のために必要な論点の分析 2																				
7. 民事訴訟法の答案作成 1	17. 刑事訴訟法の答案作成 1																				
8. 民事訴訟法の答案作成 2	18. 刑事訴訟法の答案作成 2																				
9. 民事訴訟法の作成された答案を使用した解説・分析 1	19. 刑事訴訟法の作成された答案を使用した解説・分析 1																				
10. 民事訴訟法の作成された答案を使用した解説・分析 2	20. 刑事訴訟法の作成された答案を使用した解説・分析 2																				
<p>〔テキスト〕</p> <p>担当教員が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																					
<p>〔成績評価〕</p> <p>講義・演習終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>																					

科目名：公法研究	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>基本的人権および統治機構についての理解をより一層深めるために、種々の実践問題を通して多角的に検討していく。公務員試験の出題傾向を考慮する。</p>			
〔講義・演習項目〕			
1. 人権の観念に関する実践問題 1	41. 違憲審査制に関する実践問題 1		
2. 人権の観念に関する実践問題 2	42. 違憲審査制に関する実践問題 2		
3. 人権と主体に関する実践問題 1	43. 憲法改正等に関する実践問題 1		
4. 人権と主体に関する実践問題 2	44. 憲法改正等に関する実践問題 2		
5. 人権と公共の福祉に関する実践問題 1	45. 総合演習 1		
6. 人権と公共の福祉に関する実践問題 2	46. 総合演習 2		
7. 私人間における人権に関する実践問題 1	47. 総合演習 3		
8. 私人間における人権に関する実践問題 2	48. 総合演習 4		
9. 新しい人権に関する実践問題 1	49. 行政法の意義、法源に関する問題 1		
10. 新しい人権に関する実践問題 2	50. 行政法の意義、法源に関する問題 2		
11. 法の下での平等に関する実践問題 1	51. 行政法の意義、法源に関する問題 3		
12. 法の下での平等に関する実践問題 2	52. 公法と私法、法律による行政の原理による問題 1		
13. 精神的自由権に関する実践問題 1	53. 公法と私法、法律による行政の原理による問題 2		
14. 精神的自由権に関する実践問題 2	54. 公法と私法、法律による行政の原理による問題 3		
15. 職業選択・居住移転の自由に関する実践問題 1	55. 行政の組織に関する問題 1		
16. 職業選択・居住移転の自由に関する実践問題 2	56. 行政の組織に関する問題 2		
17. 財産権の保障に関する実践問題 1	57. 行政の組織に関する問題 3		
18. 財産権の保障に関する実践問題 2	58. 行政行為に関する問題 1		
19. 人身の自由と適正手続に関する実践問題 1	59. 行政行為に関する問題 2		
20. 人身の自由と適正手続に関する実践問題 2	60. 行政行為に関する問題 3		
21. 国務請求権と参政権に関する実践問題 1	61. 行政上の義務履行確保の手段に関する問題 1		
22. 国務請求権と参政権に関する実践問題 2	62. 行政上の義務履行確保の手段に関する問題 2		
23. 生存権・労働基本権に関する実践問題 1	63. 行政上の義務履行確保の手段に関する問題 3		
24. 生存権・労働基本権に関する実践問題 2	64. 国家賠償法 1 条・2 条に関する問題 1		
25. 教育を受ける権利に関する実践問題 1	65. 国家賠償法 1 条・2 条に関する問題 2		
26. 教育を受ける権利に関する実践問題 2	66. 国家賠償法 1 条・2 条に関する問題 3		
27. 二院制、国会・議院の権能に関する実践問題 1	67. 行政上の損失補償に関する問題 1		
28. 二院制、国会・議院の権能に関する実践問題 2	68. 行政上の損失補償に関する問題 2		
29. 衆議院の解散に関する実践問題 1	69. 行政上の損失補償に関する問題 3		
30. 衆議院の解散に関する実践問題 2	70. 不服申し立て制度に関する問題 1		
31. 内閣の組織と権能に関する実践問題 1	71. 不服申し立て制度に関する問題 2		
32. 内閣の組織と権能に関する実践問題 2	72. 不服申し立て制度に関する問題 3		
33. 議院内閣制に関する実践問題 1	73. 行政事件訴訟に関する問題 1		
34. 議院内閣制に関する実践問題 2	74. 行政事件訴訟に関する問題 2		
35. 財政に関する実践問題 1	75. 行政事件訴訟に関する問題 3		
36. 財政に関する実践問題 2	76. 総合演習 1		
37. 地方自治に関する実践問題 1	77. 総合演習 2		
38. 地方自治に関するじっせん問題 2	78. 総合演習 3		
39. 司法権に関する実践問題 1	79. 総合演習 4		
40. 司法権に関する実践問題 2	80. 総合演習 5		
〔テキスト〕			
<p>憲法・行政法の基本的テキスト、判例集、種々の問題集および問題プリント。</p>			
〔成績評価〕			
<p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			

科目名：民法研究	開講年次：1年	授業時数：60	単位数：3
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
民法の基本的な理解を前提に、民法全体の各条文の意義・要件・効果を整理するとともに、判例の考え方及び通説的な見解の考察をする。また、実務上の手続きなどを学習し、最新の事例を題材として研究し、修得を目指す。			
〔講義・演習項目〕			
1. 総則・物権に関する問題 1	31. 契約法に関する問題 4		
2. 総則・物権に関する問題 2	32. 契約法に関する問題 5		
3. 総則・物権に関する問題 3	33. 契約法に関する問題 6		
4. 総則・物権に関する問題 4	34. 契約法に関する問題 7		
5. 総則・物権に関する問題 5	35. 契約法に関する問題 8		
6. 総則・物権に関する問題 6	36. 契約法に関する問題 9		
7. 総則・物権に関する問題 7	37. 不法行為に関する問題 1		
8. 総則・物権に関する問題 8	38. 不法行為に関する問題 2		
9. 総則・物権に関する問題 9	39. 不法行為に関する問題 3		
10. 抵当権・譲渡担保に関する問題 1	40. 不法行為に関する問題 4		
11. 抵当権・譲渡担保に関する問題 2	41. 不法行為に関する問題 5		
12. 抵当権・譲渡担保に関する問題 3	42. 不法行為に関する問題 6		
13. 抵当権・譲渡担保に関する問題 4	43. 不法行為に関する問題 7		
14. 抵当権・譲渡担保に関する問題 5	44. 不法行為に関する問題 8		
15. 抵当権・譲渡担保に関する問題 6	45. 不法行為に関する問題 9		
16. 抵当権・譲渡担保に関する問題 7	46. 親族相続に関する問題等 1		
17. 抵当権・譲渡担保に関する問題 8	47. 親族相続に関する問題等 2		
18. 抵当権・譲渡担保に関する問題 9	48. 親族相続に関する問題等 3		
19. 債権総論に関する問題 1	49. 親族相続に関する問題等 4		
20. 債権総論に関する問題 2	50. 親族相続に関する問題等 5		
21. 債権総論に関する問題 3	51. 親族相続に関する問題等 6		
22. 債権総論に関する問題 4	52. 親族相続に関する問題等 7		
23. 債権総論に関する問題 5	53. 親族相続に関する問題等 8		
24. 債権総論に関する問題 6	54. 親族相続に関する問題等 9		
25. 債権総論に関する問題 7	55. 総合演習 1		
26. 債権総論に関する問題 8	56. 総合演習 2		
27. 債権総論に関する問題 9	57. 総合演習 3		
28. 契約法に関する問題 1	58. 総合演習 4		
29. 契約法に関する問題 2	59. 総合演習 5		
30. 契約法に関する問題 3	60. 総合演習 6		
〔テキスト〕			
民法の基本的テキスト、判例集、種々の問題集および問題プリント。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：経済学研究	開講年次：1年	授業時数：60	単位数：3
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
国民経済計算、消費の理論、IS-LM分析、市場の失敗、部分均衡分析と一般均衡分析、国際貿易、パレート最適等について、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 国民経済計算に関する問題 1	31. 効用関数・無差別曲線に関する問題 3		
2. 国民経済計算に関する問題 2	32. 効用関数・無差別曲線に関する問題 4		
3. 国民経済計算に関する問題 3	33. 最適消費量の決定に関する問題 1		
4. 国民経済計算に関する問題 4	34. 最適消費量の決定に関する問題 2		
5. セイの法則と有効需要の原理に関する問題 1	35. 最適消費量の決定に関する問題 3		
6. セイの法則と有効需要の原理に関する問題 2	36. 最適消費量の決定に関する問題 4		
7. セイの法則と有効需要の原理に関する問題 3	37. 所得効果・代替効果に関する問題 1		
8. セイの法則と有効需要の原理に関する問題 4	38. 所得効果・代替効果に関する問題 2		
9. 国民所得決定に関する問題 1	39. 所得効果・代替効果に関する問題 3		
10. 国民所得決定に関する問題 2	40. 所得効果・代替効果に関する問題 4		
11. 国民所得決定に関する問題 3	41. 需要曲線の導出に関する問題 1		
12. 国民所得決定に関する問題 4	42. 需要曲線の導出に関する問題 2		
13. 消費の理論に関する問題 1	43. 需要曲線の導出に関する問題 3		
14. 消費の理論に関する問題 2	44. 需要曲線の導出に関する問題 4		
15. 消費の理論に関する問題 3	45. 生産関数・等量曲線に関する問題 1		
16. 消費の理論に関する問題 4	46. 生産関数・等量曲線に関する問題 2		
17. IS-LM分析に関する問題 1	47. 生産関数・等量曲線に関する問題 3		
18. IS-LM分析に関する問題 2	48. 生産関数・等量曲線に関する問題 4		
19. IS-LM分析に関する問題 3	49. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 1		
20. IS-LM分析に関する問題 4	50. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 2		
21. 財政政策と金融政策に関する問題 1	51. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 3		
22. 財政政策と金融政策に関する問題 2	52. 供給曲線の導出に関する問題 1		
23. 財政政策と金融政策に関する問題 3	53. 供給曲線の導出に関する問題 2		
24. 財政政策と金融政策に関する問題 4	54. 供給曲線の導出に関する問題 3		
25. インフレーションと失業に関する問題 1	55. 独占・寡占に関する問題 1		
26. インフレーションと失業に関する問題 2	56. 独占・寡占に関する問題 2		
27. インフレーションと失業に関する問題 3	57. 独占・寡占に関する問題 3		
28. インフレーションと失業に関する問題 4	58. 市場の失敗に関する問題等 1		
29. 効用関数・無差別曲線に関する問題 1	59. 市場の失敗に関する問題等 2		
30. 効用関数・無差別曲線に関する問題 2	60. 市場の失敗に関する問題等 3		
〔テキスト〕			
セリエマクロ経済学・セリエミクロ経済学、種々の問題集および問題プリント。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：政治学・行政学研究	開講年次：1年	授業時数：20	単位数：1
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>政治制度、選挙制度、政治権力、政党と圧力団体、国家概念、大衆社会の成立、世論、独裁等に関する理解をより一層深めるために、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。</p> <p>行政学の歴史・理論、行政権の役割と行政責任、行政改革と地方分権、予算、行政広報情報公開、オンブズマン、地方自治制度と諸問題等に関する理解をより一層深めるために、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。</p>			
〔講義・演習項目〕			
1. 政治学：各国の政治制度に関する問題			
2. 政治学：選挙制度に関する問題			
3. 政治学：政治権力に関する問題			
4. 政治学：イデオロギーと政治意識に関する問題			
5. 政治学：政党と圧力団体に関する問題			
6. 政治学：国家概念に関する問題			
7. 政治学：現代政治の諸問題に関する問題			
8. 政治学：政治思想と現代政治学に関する問題 等			
9. 行政学：官房学に関する問題			
10. 行政学：アメリカ行政学の展開に関する問題			
11. 行政学：官僚制に関する問題			
12. 行政学：行政国家に関する問題			
13. 行政学：現代の行政に関する問題			
14. 行政学：地方自治に関する問題			
15. 行政学：予算に関する問題			
16. 行政学：行政広報に関する問題			
17. 行政学：情報公開に関する問題			
18. 行政学：行政改革に関する問題 等			
19. 総合演習 1			
20. 総合演習 2			
〔テキスト〕			
セリエ政治学・セリエ行政学を中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：経営学・財政学研究	開講年次：1年	授業時数：20	単位数：1
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>経営の多角化、経営戦略、株式会社制度、人事・労務管理、生産と技術、財務管理等についての理解を目指す。種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。</p> <p>財政をめぐる歴史・理論および財政構造改革、予算制度、一般会計予算、財政投融资地方財政、国庫金制度等に関する理解をより一層深めるために、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。</p>			
〔講義・演習項目〕			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営学：経営学説全般に関する問題 1 2. 経営学：経営学説全般に関する問題 2 3. 経営学：伝統的管理論・人間関係論に関する問題 1 4. 経営学：伝統的管理論・人間関係論に関する問題 2 5. 経営学：意思決定論に関する問題 6. 経営学：リーダーシップ論に関する問題 7. 経営学：経営組織全般に関する問題 8. 経営学：事業部制組織に関する問題 9. 経営学：経営戦略全般に関する問題 等 10. 財政学：予算制度に関する問題 1 11. 財政学：予算制度に関する問題 2 12. 財政学：一般会計予算に関する問題 1 13. 財政学：一般会計予算に関する問題 2 14. 財政学：財政投融资に関する問題 15. 財政学：地方財政に関する問題 1 16. 財政学：地方財政に関する問題 2 17. 財政学：国庫金制度に関する問題 等 18. 総合演習 1 19. 総合演習 2 20. 総合演習 3 			
〔テキスト〕			
経営学・財政学に関する標準テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：社会・教育・心理学研究 開講年次：1年 開講学期：前期 授業方法：演習 担当教員：本学職員	授業時数：20 種類：専門科目 分類：選択必修	単位数：1
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>社会学の基礎概念、社会構造と社会変動、社会生活の諸領域、大衆社会論、社会学の歴史と理論、社会学の歴史、社会学の展開、家族論、大衆社会論、等の理解を一層深めるために、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。</p> <p>教育学においては、教育史、教育社会学、教育法規、生涯学習、教育方法についての理解を目指し、心理学においては、学習、認知、発達、社会等についての理解を目指し種々の演習問題を多角的に検討し、公務員試験の出題傾向を考慮する。</p>		
<p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会学：社会関係における地位と役割 2. 社会学：階級と階層 3. 社会学：社会変動論 4. 社会学：家族 5. 社会学：都市と農村 6. 社会学：組織・管理論 等 7. 教育学：教育史 8. 教育学：教育社会学 9. 教育学：教育法規 10. 教育学：生涯学習 11. 教育学：教育方法学 12. 心理学：感覚・知覚 13. 心理学：学習 14. 心理学：認知 15. 心理学：発達 16. 心理学：社会 17. 心理学：人格・臨床 18. 心理学：教育 19. 心理学：感情 20. 心理学：心理測定法 		
<p>〔テキスト〕</p> <p>社会学・教育学・心理学に関する標準テキスト、種々の問題プリントを中心とする。</p>		
<p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>		

科目名：コンピュータ演習 I	開講年次：1年	授業時数：20	単位数：1
	開講学期：後期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
コンピュータの起動、文字入力、表計算、ファイルの操作、印刷、データの保存等の基本操作の習得を目指す。また、コンピュータおよび関連知識についての理解を目指す。			
〔講義・演習項目〕			
1. コンピュータの仕組みと操作 1			
2. コンピュータの仕組みと操作 2			
3. コンピュータの仕組みと操作 3			
4. データの入力 1			
5. データの入力 2			
6. データの入力 3			
7. 表計算等のデータの処理 1			
8. 表計算等のデータの処理 2			
9. 表計算等のデータの処理 3			
10. ファイルの操作 1			
11. ファイルの操作 2			
12. ファイルの操作 3			
13. データの印刷 1			
14. データの印刷 2			
15. データの印刷 3			
16. データの保存 1			
17. データの保存 2			
18. データの保存 3			
19. 総合 1			
20. 総合 2			
〔テキスト〕			
情報処理に関する標準的テキスト、種々のプリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：ビジネスマナー	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	開講学期：後期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
ビジネス実務と法律との関わりについて学び、法を遵守しながら、それにとどまらず社会のニーズに応えられるような知識の習得及び業務を行うのに必要な知識・技能の習得を目指す。			
〔講義・演習項目〕			
1. ビジネスを取り巻くリスク 1	41. 企業財産の管理 1		
2. ビジネスを取り巻くリスク 2	42. 企業財産の管理 2		
3. ビジネスを取り巻くリスク 3	43. 企業財産の管理 3		
4. ビジネスを取り巻くリスク 4	44. 企業財産の管理 4		
5. ビジネスを取り巻くリスク 5	45. 企業財産の管理 5		
6. ビジネスを取り巻くリスク 6	46. 企業財産の管理 6		
7. ビジネスを取り巻くリスク 7	47. 企業財産の管理 7		
8. ビジネスを取り巻くリスク 8	48. 企業財産の管理 8		
9. ビジネスを取り巻くリスク 9	49. 企業財産の管理 9		
10. ビジネスを取り巻くリスク 10	50. 企業財産の管理 10		
11. 企業活動の根底にある法理念 1	51. 企業活動に関する法規制 1		
12. 企業活動の根底にある法理念 2	52. 企業活動に関する法規制 2		
13. 企業活動の根底にある法理念 3	53. 企業活動に関する法規制 3		
14. 企業活動の根底にある法理念 4	54. 企業活動に関する法規制 4		
15. 企業活動の根底にある法理念 5	55. 企業活動に関する法規制 5		
16. 企業活動の根底にある法理念 6	56. 企業活動に関する法規制 6		
17. 企業活動の根底にある法理念 7	57. 企業活動に関する法規制 7		
18. 企業活動の根底にある法理念 8	58. 企業活動に関する法規制 8		
19. 企業活動の根底にある法理念 9	59. 企業活動に関する法規制 9		
20. 企業活動の根底にある法理念 10	60. 企業活動に関する法規制 10		
21. 企業取引（特に契約）について 1	61. 会社の仕組み 1		
22. 企業取引（特に契約）について 2	62. 会社の仕組み 2		
23. 企業取引（特に契約）について 3	63. 会社の仕組み 3		
24. 企業取引（特に契約）について 4	64. 会社の仕組み 4		
25. 企業取引（特に契約）について 5	65. 会社の仕組み 5		
26. 企業取引（特に契約）について 6	66. 会社の仕組み 6		
27. 企業取引（特に契約）について 7	67. 会社の仕組み 7		
28. 企業取引（特に契約）について 8	68. 会社の仕組み 8		
29. 企業取引（特に契約）について 9	69. 会社の仕組み 9		
30. 企業取引（特に契約）について 10	70. 会社の仕組み 10		
31. 債権管理と回収 1	71. 企業と従業員の関係 等 1		
32. 債権管理と回収 2	72. 企業と従業員の関係 等 2		
33. 債権管理と回収 3	73. 企業と従業員の関係 等 3		
34. 債権管理と回収 4	74. 企業と従業員の関係 等 4		
35. 債権管理と回収 5	75. 企業と従業員の関係 等 5		
36. 債権管理と回収 6	76. 企業と従業員の関係 等 6		
37. 債権管理と回収 7	77. 企業と従業員の関係 等 7		
38. 債権管理と回収 8	78. 企業と従業員の関係 等 8		
39. 債権管理と回収 9	79. 企業と従業員の関係 等 9		
40. 債権管理と回収 10	80. 企業と従業員の関係 等 10		
〔テキスト〕			
ビジネス法務やマナーに関する標準的テキスト、種々のプリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：卒業研究Ⅰ	開講年次：1年	授業時数：160	単位数：8
	開講学期：後期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
専門学校での学習の集大成として、就職先の業界研究や官庁研究など各学生がテーマを考え論文を作成する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 卒業研究概要 1	41. 下書き作成 16	81. 下書き作成 56	121. 清書作成 21
2. 卒業研究概要 2	42. 下書き作成 17	82. 下書き作成 57	122. 清書作成 22
3. 卒業研究概要 3	43. 下書き作成 18	83. 下書き作成 58	123. 清書作成 23
4. 卒業研究概要 4	44. 下書き作成 19	84. 下書き作成 59	124. 清書作成 24
5. 卒業研究概要 5	45. 下書き作成 20	85. 下書き作成 60	125. 清書作成 25
6. テーマの研究 1	46. 下書き作成 21	86. 下書き作成 61	126. 清書作成 26
7. テーマの研究 2	47. 下書き作成 22	87. 下書き作成 62	127. 清書作成 27
8. テーマの研究 3	48. 下書き作成 23	88. 下書き作成 63	128. 清書作成 28
9. テーマの研究 4	49. 下書き作成 24	89. 下書き作成 64	129. 清書作成 29
10. テーマの研究 5	50. 下書き作成 25	90. 下書き作成 65	130. 清書作成 30
11. 情報収集 1	51. 下書き作成 26	91. 下書き作成 66	131. 清書作成 31
12. 情報収集 2	52. 下書き作成 27	92. 下書き作成 67	132. 清書作成 32
13. 情報収集 3	53. 下書き作成 28	93. 下書き作成 68	133. 清書作成 33
14. 情報収集 4	54. 下書き作成 29	94. 下書き作成 69	134. 清書作成 34
15. 情報収集 5	55. 下書き作成 30	95. 下書き作成 70	135. 清書作成 35
16. 情報収集 6	56. 下書き作成 31	96. 下書き作成 71	136. 清書作成 36
17. 情報収集 7	57. 下書き作成 32	97. 下書き作成 72	137. 清書作成 37
18. 情報収集 8	58. 下書き作成 33	98. 下書き作成 73	138. 清書作成 38
19. 情報収集 9	59. 下書き作成 34	99. 下書き作成 74	139. 清書作成 39
20. 情報収集 10	60. 下書き作成 35	100. 下書き作成 75	140. 清書作成 40
21. 情報収集 11	61. 下書き作成 36	101. 清書作成 1	141. 清書作成 41
22. 情報収集 12	62. 下書き作成 37	102. 清書作成 2	142. 清書作成 42
23. 情報収集 13	63. 下書き作成 38	103. 清書作成 3	143. 清書作成 43
24. 情報収集 14	64. 下書き作成 39	104. 清書作成 4	144. 清書作成 44
25. 情報収集 15	65. 下書き作成 40	105. 清書作成 5	145. 清書作成 45
26. 下書き作成 1	66. 下書き作成 41	106. 清書作成 6	146. 清書作成 46
27. 下書き作成 2	67. 下書き作成 42	107. 清書作成 7	147. 清書作成 47
28. 下書き作成 3	68. 下書き作成 43	108. 清書作成 8	148. 清書作成 48
29. 下書き作成 4	69. 下書き作成 44	109. 清書作成 9	149. 清書作成 49
30. 下書き作成 5	70. 下書き作成 45	110. 清書作成 10	150. 清書作成 50
31. 下書き作成 6	71. 下書き作成 46	111. 清書作成 11	151. 清書作成 51
32. 下書き作成 7	72. 下書き作成 47	112. 清書作成 12	152. 清書作成 52
33. 下書き作成 8	73. 下書き作成 48	113. 清書作成 13	153. 清書作成 53
34. 下書き作成 9	74. 下書き作成 49	114. 清書作成 14	154. 清書作成 54
35. 下書き作成 10	75. 下書き作成 50	115. 清書作成 15	155. 清書作成 55
36. 下書き作成 11	76. 下書き作成 51	116. 清書作成 16	156. 清書作成 56
37. 下書き作成 12	77. 下書き作成 52	117. 清書作成 17	157. 清書作成 57
38. 下書き作成 13	78. 下書き作成 53	118. 清書作成 18	158. 清書作成 58
39. 下書き作成 14	79. 下書き作成 54	119. 清書作成 19	159. 清書作成 59
40. 下書き作成 15	80. 下書き作成 55	120. 清書作成 20	160. 製本 等
〔テキスト〕			
各学生が収集した卒業研究に関する資料を中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、提出物、出席等を総合して判断する。			

科目名：数的推理研究	開講年次：1年	授業時数：100	単位数：5
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の応用力を身につけるけるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 方程式・不等式(1)～(7) 1	36. 数(1)～(2) 6	71. 覆面算・虫喰算 1	
2. 方程式・不等式(1)～(7) 2	37. 数(1)～(2) 7	72. 覆面算・虫喰算 2	
3. 方程式・不等式(1)～(7) 3	38. 測量 5	73. 覆面算・虫喰算 3	
4. 方程式・不等式(1)～(7) 4	39. 測量 6	74. 覆面算・虫喰算 4	
5. 数(1)～(2) 1	40. 魔方陣 5	75. 場合の数 1	
6. 数(1)～(2) 2	41. 魔方陣 6	76. 場合の数 2	
7. 数(1)～(2) 3	42. 比・割合 5	77. 場合の数 3	
8. 数(1)～(2) 4	43. 比・割合 6	78. 場合の数 4	
9. 測量 1	44. 覆面算・虫喰算 5	79. 時間・距離・速さ(13)～(14) 5	
10. 測量 2	45. 覆面算・虫喰算 6	80. 時間・距離・速さ(13)～(14) 6	
11. 測量 3	46. 損益算 5	81. 時間・距離・速さ(13)～(14) 7	
12. 測量 4	47. 損益算 6	82. 時間・距離・速さ(13)～(14) 8	
13. 魔方陣 1	48. 時間・距離・速さ(1)～(12) 5	83. 仕事算 5	
14. 魔方陣 2	49. 時間・距離・速さ(1)～(12) 6	84. 仕事算 6	
15. 魔方陣 3	50. 時間・距離・速さ(1)～(12) 7	85. 仕事算 7	
16. 魔方陣 4	51. 時間・距離・速さ(13)～(14) 1	86. 数列 5	
17. 比・割合 1	52. 時間・距離・速さ(13)～(14) 2	87. 数列 6	
18. 比・割合 2	53. 時間・距離・速さ(13)～(14) 3	88. 暦 5	
19. 比・割合 3	54. 時間・距離・速さ(13)～(14) 4	89. 暦 6	
20. 比・割合 4	55. 仕事算 1	90. 方程式・不等式(8)～(11) 5	
21. 覆面算・虫喰算 1	56. 仕事算 2	91. 方程式・不等式(8)～(11) 6	
22. 覆面算・虫喰算 2	57. 仕事算 3	92. 覆面算・虫喰算 5	
23. 覆面算・虫喰算 3	58. 仕事算 4	93. 覆面算・虫喰算 6	
24. 覆面算・虫喰算 4	59. 数列 1	94. 場合の数 5	
25. 損益算 1	60. 数列 2	95. 場合の数 6	
26. 損益算 2	61. 数列 3	96. 総合演習 1	
27. 損益算 3	62. 数列 4	97. 総合演習 2	
28. 損益算 4	63. 暦 1	98. 総合演習 3	
29. 時間・距離・速さ(1)～(12) 1	64. 暦 2	99. 総合演習 4	
30. 時間・距離・速さ(1)～(12) 2	65. 暦 3	100. 総合演習 5	
31. 時間・距離・速さ(1)～(12) 3	66. 暦 4		
32. 時間・距離・速さ(1)～(12) 4	67. 方程式・不等式(8)～(11) 1		
33. 方程式・不等式(1)～(7) 5	68. 方程式・不等式(8)～(11) 2		
34. 方程式・不等式(1)～(7) 6	69. 方程式・不等式(8)～(11) 3		
35. 数(1)～(2) 5	70. 方程式・不等式(8)～(11) 4		
〔テキスト〕			
数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト等、学期末試験を総合して判断する。			

科目名：判断推理研究	開講年次：1年	授業時数：100	単位数：5
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域及び平面・立体図形・軌跡等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域の応用力を身につけ、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 集合 1	36. 方位・位置 2	71. 折り紙 2	
2. 集合 2	37. 方位・位置 3	72. 折り紙 3	
3. 集合 3	38. 方位・位置 4	73. 折り紙 4	
4. 集合 4	39. 方位・位置 5	74. 折り紙 5	
5. 集合 5	40. 数量推理 1	75. サイコロ 1	
6. 論理命題 1	41. 数量推理 2	76. サイコロ 2	
7. 論理命題 2	42. 数量推理 3	77. サイコロ 3	
8. 論理命題 3	43. 数量推理 4	78. サイコロ 4	
9. 論理命題 4	44. 数量推理 5	79. サイコロ 5	
10. 論理命題 5	45. 手順 1	80. 立体図形 1	
11. 暗号 1	46. 手順 2	81. 立体図形 2	
12. 暗号 2	47. 手順 3	82. 立体図形 3	
13. 暗号 3	48. 手順 4	83. 立体図形 4	
14. 暗号 4	49. 手順 5	84. 立体図形 5	
15. 暗号 5	50. 平面図形 1	85. 位相・道順 1	
16. 対応関係 1	51. 平面図形 2	86. 位相・道順 2	
17. 対応関係 2	52. 平面図形 3	87. 位相・道順 3	
18. 対応関係 3	53. 平面図形 4	88. 位相・道順 4	
19. 対応関係 4	54. 平面図形 5	89. 位相・道順 5	
20. 対応関係 5	55. 軌跡 1	90. 総合演習 1	
21. 試合と勝敗 1	56. 軌跡 2	91. 総合演習 2	
22. 試合と勝敗 2	57. 軌跡 3	92. 総合演習 3	
23. 試合と勝敗 3	58. 軌跡 4	93. 総合演習 4	
24. 試合と勝敗 4	59. 軌跡 5	94. 総合演習 5	
25. 試合と勝敗 5	60. 投影図 1	95. 総合演習 6	
26. 証言推理 1	61. 投影図 2	96. 総合演習 7	
27. 証言推理 2	62. 投影図 3	97. 総合演習 8	
28. 証言推理 3	63. 投影図 4	98. 総合演習 9	
29. 証言推理 4	64. 投影図 5	99. 総合演習 10	
30. 順序関係 1	65. 展開図 1	100. 総合演習 11	
31. 順序関係 2	66. 展開図 2		
32. 順序関係 3	67. 展開図 3		
33. 順序関係 4	68. 展開図 4		
34. 順序関係 5	69. 展開図 5		
35. 方位・位置 1	70. 折り紙 1		
〔テキスト〕			
判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト等、学期末試験を総合して判断する。			

科目名：資料分析研究	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の応用力を身につけ、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 実数・指数 1		21. 構成比 6	
2. 実数・指数 2		22. 構成比 7	
3. 実数・指数 3		23. 構成比 8	
4. 実数・指数 4		24. 構成比 9	
5. 実数・指数 5		25. 構成比 10	
6. 構成比 1		26. 増加率・その他 6	
7. 構成比 2		27. 増加率・その他 7	
8. 構成比 3		28. 増加率・その他 8	
9. 構成比 4		29. 増加率・その他 9	
10. 構成比 5		30. 増加率・その他 10	
11. 増加率・その他 1		31. 総合演習 1	
12. 増加率・その他 2		32. 総合演習 2	
13. 増加率・その他 3		33. 総合演習 3	
14. 増加率・その他 4		34. 総合演習 4	
15. 増加率・その他 5		35. 総合演習 5	
16. 実数・指数 6		36. 総合演習 6	
17. 実数・指数 7		37. 総合演習 7	
18. 実数・指数 8		38. 総合演習 8	
19. 実数・指数 9		39. 総合演習 9	
20. 実数・指数 10		40. 総合演習 10	
〔テキスト〕			
資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：文章研究	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
現代文・古文・漢文・英文等の文章に対する読解力・内容把握力・構成力等の総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 要旨把握 1	21. 古文の内容把握 1		
2. 要旨把握 2	22. 古文の内容把握 2		
3. 要旨把握 3	23. 古文の内容把握 3		
4. 要旨把握 4	24. 古文の内容把握 4		
5. 内容把握 1	25. 漢文の内容把握 1		
6. 内容把握 2	26. 漢文の内容把握 2		
7. 内容把握 3	27. 漢文の内容把握 3		
8. 内容把握 4	28. 漢文の内容把握 4		
9. 下線部把握 1	29. 英文の内容把握 1		
10. 下線部把握 2	30. 英文の内容把握 2		
11. 下線部把握 3	31. 英文の内容把握 3		
12. 下線部把握 4	32. 英文の内容把握 4		
13. 空欄補充 1	33. 総合演習 1		
14. 空欄補充 2	34. 総合演習 2		
15. 空欄補充 3	35. 総合演習 3		
16. 空欄補充 4	36. 総合演習 4		
17. 文章整序 1	37. 総合演習 5		
18. 文章整序 2	38. 総合演習 6		
19. 文章整序 3	39. 総合演習 7		
20. 文章整序 4	40. 総合演習 8		
〔テキスト〕			
文章研究に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト等、学期末試験を総合して判断する。			

科目名：適性演習	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
事務処理能力の基本である文書作成・集計・照合・転記・分類・整理といった各作業を、速くかつ正確に行うことを目標とする。計算・分類・照合・置き換え・図形把握等の形式を中心として、基礎的な問題についてスパイラル方式による演習を行う。			
〔講義・演習項目〕			
1. 計算・分類・図形把握の形式1	21. 分類・置き換え・図形把握の形式1		
2. 計算・分類・図形把握の形式2	22. 分類・置き換え・図形把握の形式2		
3. 計算・分類・図形把握の形式3	23. 分類・置き換え・図形把握の形式3		
4. 計算・分類・図形把握の形式4	24. 分類・置き換え・図形把握の形式4		
5. 計算・分類・図形把握の形式5	25. 分類・置き換え・図形把握の形式5		
6. 計算・照合・図形把握の形式1	26. 照合・置き換え・図形把握の形式等1		
7. 計算・照合・図形把握の形式2	27. 照合・置き換え・図形把握の形式等2		
8. 計算・照合・図形把握の形式3	28. 照合・置き換え・図形把握の形式等3		
9. 計算・照合・図形把握の形式4	29. 照合・置き換え・図形把握の形式等4		
10. 計算・照合・図形把握の形式5	30. 照合・置き換え・図形把握の形式等5		
11. 計算・置き換え・図形把握の形式1	31. 総合演習1		
12. 計算・置き換え・図形把握の形式2	32. 総合演習2		
13. 計算・置き換え・図形把握の形式3	33. 総合演習3		
14. 計算・置き換え・図形把握の形式4	34. 総合演習4		
15. 計算・置き換え・図形把握の形式5	35. 総合演習5		
16. 分類・照合・図形把握の形式1	36. 総合演習6		
17. 分類・照合・図形把握の形式2	37. 総合演習7		
18. 分類・照合・図形把握の形式3	38. 総合演習8		
19. 分類・照合・図形把握の形式4	39. 総合演習9		
20. 分類・照合・図形把握の形式5	40. 総合演習10		
〔テキスト〕			
適性に関するプリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト等、学期末試験を総合して判断する。			

科目名：社会学研究	開講年次：1年	授業時数：20	単位数：1
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
社会学の基礎概念、社会構造と社会変動、社会生活の諸領域、大衆社会論、社会学の歴史と理論、社会学の歴史、社会学の展開、家族論、大衆社会論、等の理解を一層深めるために、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 社会関係における地位と役割 1			
2. 社会関係における地位と役割 2			
3. 社会関係における地位と役割 3			
4. 階級と階層 1			
5. 階級と階層 2			
6. 階級と階層 3			
7. 社会変動論 1			
8. 社会変動論 2			
9. 社会変動論 3			
10. 家族 1			
11. 家族 2			
12. 家族 3			
13. 都市と農村 1			
14. 都市と農村 2			
15. 都市と農村 3			
16. 都市と農村 4			
17. 組織・管理論等 1			
18. 組織・管理論等 2			
19. 組織・管理論等 3			
20. 組織・管理論等 4			
〔テキスト〕			
セリエ社会学、種々の問題集および問題プリント。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：教育・心理学研究	開講年次：1年	授業時数：20	単位数：1
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
教育学においては、教育史、教育社会学、教育法規、生涯学習、教育方法についての理解を目指し、心理学においては、学習、認知、発達、社会等についての理解を目指し種々の演習問題を多角的に検討し、公務員試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 教育学：教育史 1			
2. 教育学：教育史 2			
3. 教育学：教育社会学 1			
4. 教育学：教育社会学 2			
5. 教育学：教育法規 1			
6. 教育学：教育法規 2			
7. 教育学：生涯学習 1			
8. 教育学：生涯学習 2			
9. 教育学：教育方法学 1			
10. 教育学：教育方法学 2			
11. 心理学：感覚・知覚 1			
12. 心理学：感覚・知覚 2			
13. 心理学：学習			
14. 心理学：認知			
15. 心理学：発達			
16. 心理学：社会			
17. 心理学：人格・臨床			
18. 心理学：教育			
19. 心理学：感情			
20. 心理学：心理測定法			
〔テキスト〕			
教育学・心理学に関する標準テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト等、学期末試験を総合して判断する。			

科目名： 総合演習 I	開講年次： 1 年 授業時数： 80 単位数： 4 開講学期： 前期 種類： 専門科目 分類： 選択必修 授業方法： 演習 担当教員： 本学職員
〔講義主要目標及び講義概要〕	
就職活動の準備段階として、各種業界についての研究を行い、その研究を通じて社会 に対する認識を深め、就職活動をより活発に行えるよう学習する。	
〔講義・演習項目〕	
1. 農林業界の研究	41. 総合商社業界の研究 2
2. 水産業界の研究	42. 商社業界の研究
3. 食品業界の研究	43. 百貨店業界の研究
4. 建設業界の研究	44. スーパーマーケット業界の研究
5. 設備関連業界の研究	45. コンビニエンスストア業界の研究
6. 住宅業界の研究	46. 専門店業界の研究
7. インテリア業界の研究	47. 銀行業界の研究
8. アパレル業界の研究	48. 証券業界の研究
9. 服飾関連業界の研究	49. 信金・労金・信組業界の研究
10. 繊維業界の研究	50. クレジット・信販・リース業界の研究
11. 紙パルプ業界の研究	51. 生保・損保業界の研究
12. 化学業界の研究	52. 不動産業界の研究
13. 石油業界の研究	53. 鉄道・航空業界の研究
14. ゴム業界の研究	54. 陸運・海運・物流業界の研究
15. ガラス業界の研究	55. 電力・ガス・エネルギー業界の研究
16. セラミックス業界の研究	56. レストラン・給食・フードサービス業界の研究
17. 薬品業界の研究	57. ホテル業界の研究
18. 化粧品業界の研究	58. 旅行業界の研究
19. 鉄鋼業界の研究	59. 医療機関・調剤薬局業界の研究
20. 金属業界の研究	60. 福祉サービス業界の研究
21. 鋳工業界の研究	61. アミューズメント施設・レジャー施設業界の研究
22. 機械業界の研究	62. フィットネスクラブ・エステ・理美容業界の研究
23. プラント業界の研究	63. 冠婚葬祭業界の研究
24. エンジニアリング業界の研究	64. コンサルティング・シンクタンク・調査業界の研究
25. 電子業界の研究	65. 人材サービス業界の研究
26. 電気業界の研究	66. 教育業界の研究
27. OA 機器業界の研究	67. ソフトウェア業界の研究
28. 精密機械業界の研究	68. 情報処理業界の研究
29. 医療機器業界の研究	69. ネット関連業界の研究
30. 印刷業界の研究	70. ゲームソフト業界の研究
31. 事務機器業界の研究	71. 通信業界の研究
32. 日用品業界の研究	72. マスコミ（放送）業界の研究
33. スポーツ業界の研究	73. マスコミ（出版）業界の研究
34. 玩具業界の研究	74. マスコミ（新聞）業界の研究
35. ゲーム製品業界の研究	75. マスコミ（広告）業界の研究
36. その他メーカー業界の研究 1	76. 芸能業界の研究
37. その他メーカー業界の研究 2	77. 映画業界の研究
38. 製造関連業界の研究 1	78. 音楽業界の研究
39. 製造関連業界の研究 2	79. 公社・団体業界の研究
40. 総合商社業界の研究 1	80. 官公庁業界の研究
〔テキスト〕	
会社四季報等の業界研究に関する資料。	
〔成績評価〕	
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。	

科目名： 総合演習Ⅱ	開講年次： 1年 授業時数：80 単位数： 4 開講学期： 前期 種類： 専門科目 分類： 選択必修 授業方法： 演習 担当教員： 本学職員
〔講義主要目標及び講義概要〕	
業界特性と代表的な企業内容を比較分析することで、その業界が抱える課題や問題点を掘り下げていく。	
〔講義・演習項目〕	
1. 農林業界の課題 2. 水産業界の課題 3. 食品業界の課題 4. 建設業界の課題 5. 設備関連業界の課題 6. 住宅業界の課題 7. インテリア業界の課題 8. アパレル業界の課題 9. 服飾関連業界の課題 10. 繊維業界の課題 11. 紙パルプ業界の課題 12. 化学業界の課題 13. 石油業界の課題 14. ゴム業界の課題 15. ガラス業界の課題 16. セラミックス業界の課題 17. 薬品業界の課題 18. 化粧品業界の課題 19. 鉄鋼業界の課題 20. 金属業界の課題 21. 鋳工業界の課題 22. 機械業界の課題 23. プラント業界の課題 24. エンジニアリング業界の課題 25. 電子業界の課題 26. 電気業界の課題 27. OA 機器業界の課題 28. 精密機械業界の課題 29. 医療機器業界の課題 30. 印刷業界の課題 31. 事務機器業界の課題 32. 日用品業界の課題 33. スポーツ業界の課題 34. 玩具業界の課題 35. ゲーム製品業界の課題 36. その他メーカー業界の課題 1 37. その他メーカー業界の課題 2 38. 製造関連業界の課題 1 39. 製造関連業界の課題 2 40. 総合商社業界の課題 1	41. 総合商社業界の課題 2 42. 商社業界の課題 43. 百貨店業界の課題 44. スーパーマーケット業界の課題 45. コンビニエンスストア業界の課題 46. 専門店業界の課題 47. 銀行業界の課題 48. 証券業界の課題 49. 信金・労金・信組業界の課題 50. クレジット・信販・リース業界の課題 51. 生保・損保業界の課題 52. 不動産業界の課題 53. 鉄道・航空業界の課題 54. 陸運・海運・物流業界の課題 55. 電力・ガス・エネルギー業界の課題 56. レストラン・給食・フードサービス業界の課題 57. ホテル業界の課題 58. 旅行業界の課題 59. 医療機関・調剤薬局業界の課題 60. 福祉サービス業界の課題 61. アミューズメント施設・レジャー施設業界の課題 62. フィットネスクラブ・エステ・理美容業界の課題 63. 冠婚葬祭業界の課題 64. コンサルティング・シンクタンク・調査業界の課題 65. 人材サービス業界の課題 66. 教育業界の課題 67. ソフトウェア業界の課題 68. 情報処理業界の課題 69. ネット関連業界の課題 70. ゲームソフト業界の課題 71. 通信業界の課題 72. マスコミ（放送）業界の課題 73. マスコミ（出版）業界の課題 74. マスコミ（新聞）業界の課題 75. マスコミ（広告）業界の課題 76. 芸能業界の課題 77. 映画業界の課題 78. 音楽業界の課題 79. 公社・団体業界の課題 80. 官公庁業界の課題
〔テキスト〕	
会社四季報等の業界研究に関する資料。	
〔成績評価〕	
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。	

科目名： 総合演習Ⅲ	開講年次： 1年	授業時数： 40	単位数： 2
	開講学期： 前期	種類： 専門科目	分類： 選択必修
	授業方法： 演習		
	担当教員： 本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>業界研究Ⅰ・Ⅱで得た知識を基礎として、それぞれの業界の特徴や安定性・将来性について考察し、自己の就職活動の指針とすることを目的とする。</p>			
〔講義・演習項目〕			
1. 自動車業界の特徴・将来性	21. 都市銀行業界の特徴・将来性		
2. 鉄鋼業界の特徴・将来性	22. 信託銀行業界の特徴・将来性		
3. 食品業界の特徴・将来性	23. 地方銀行業界の特徴・将来性		
4. 化粧品業界の特徴・将来性	24. 損害保険業界の特徴・将来性		
5. 医薬品業界の特徴・将来性	25. 生命保険業界の特徴・将来性		
6. 教育業界の特徴・将来性	26. 証券業界の特徴・将来性		
7. 福祉業界の特徴・将来性	27. 信用金庫業界の特徴・将来性		
8. 介護業界の特徴・将来性	28. 出版・雑誌業界の特徴・将来性		
9. 公社・官庁業界の特徴・将来性	29. テレビ放送業界の特徴・将来性		
10. 人材サービス業界の特徴・将来性	30. ラジオ放送業界の特徴・将来性		
11. 鉄道業界の特徴・将来性	31. 広告業界の特徴・将来性		
12. 航空・空港業界の特徴・将来性	32. ファッション業界の特徴・将来性		
13. レジャー業界の特徴・将来性	33. 服飾雑貨業界の特徴・将来性		
14. アミューズメント業界の特徴・将来性	34. 繊維業界の特徴・将来性		
15. ホテル業界の特徴・将来性	35. ドラッグストア業界の特徴・将来性		
16. 旅行業界の特徴・将来性	36. 調剤薬局業界の特徴・将来性		
17. 外食・レストラン業界の特徴・将来性	37. 医薬品業界の特徴・将来性		
18. フードサービス業界の特徴・将来性	38. ソフトウェア業界の特徴・将来性		
19. 不動産業界の特徴・将来性	39. 情報処理業界の特徴・将来性		
20. 商社業界の特徴・将来性	40. まとめ		
〔テキスト〕			
<p>会社四季報等の業界研究に関する資料。</p>			
〔成績評価〕			
<p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			

科目名：ビジネス実務特講	開講年次：1年 授業時数：40 単位数：2 開講学期：前期 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：講義 担当教員：本学職員																																								
[講義主要目標及び講義概要] ビジネス実務の遂行に必要な一般的な知識の習得および一般的な業務を行うのに必要な知識・技能の習得を目指す。																																									
[講義・演習項目] <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 社会人として必要とされる資質 1</td> <td style="width: 50%;">21. 社内の一般文書の作成 1</td> </tr> <tr> <td>2. 社会人として必要とされる資質 2</td> <td>22. 社内の一般文書の作成 2</td> </tr> <tr> <td>3. 社会人として必要とされる資質 3</td> <td>23. 社内の一般文書の作成 3</td> </tr> <tr> <td>4. 社会人として必要とされる資質 4</td> <td>24. 社内の一般文書の作成 4</td> </tr> <tr> <td>5. 社会人として必要とされる資質 5</td> <td>25. 社内の一般文書の作成 5</td> </tr> <tr> <td>6. 企業知識および一般知識 1</td> <td>26. 文書の取扱 1</td> </tr> <tr> <td>7. 企業知識および一般知識 2</td> <td>27. 文書の取扱 2</td> </tr> <tr> <td>8. 企業知識および一般知識 3</td> <td>28. 文書の取扱 3</td> </tr> <tr> <td>9. 企業知識および一般知識 4</td> <td>29. 文書の取扱 4</td> </tr> <tr> <td>10. 企業知識および一般知識 5</td> <td>30. 文書の取扱 5</td> </tr> <tr> <td>11. 社交としての文書の作成 1</td> <td>31. 慶事・弔事に関する作法、等 1</td> </tr> <tr> <td>12. 社交としての文書の作成 2</td> <td>32. 慶事・弔事に関する作法、等 2</td> </tr> <tr> <td>13. 社交としての文書の作成 3</td> <td>33. 慶事・弔事に関する作法、等 3</td> </tr> <tr> <td>14. 社交としての文書の作成 4</td> <td>34. 慶事・弔事に関する作法、等 4</td> </tr> <tr> <td>15. 社交としての文書の作成 5</td> <td>35. 慶事・弔事に関する作法、等 5</td> </tr> <tr> <td>16. 営業の文書の作成 1</td> <td>36. 交際業務に関する知識 等 1</td> </tr> <tr> <td>17. 営業の文書の作成 2</td> <td>37. 交際業務に関する知識 等 2</td> </tr> <tr> <td>18. 営業の文書の作成 3</td> <td>38. 交際業務に関する知識 等 3</td> </tr> <tr> <td>19. 営業の文書の作成 4</td> <td>39. 交際業務に関する知識 等 4</td> </tr> <tr> <td>20. 営業の文書の作成 5</td> <td>40. 交際業務に関する知識 等 5</td> </tr> </table>		1. 社会人として必要とされる資質 1	21. 社内の一般文書の作成 1	2. 社会人として必要とされる資質 2	22. 社内の一般文書の作成 2	3. 社会人として必要とされる資質 3	23. 社内の一般文書の作成 3	4. 社会人として必要とされる資質 4	24. 社内の一般文書の作成 4	5. 社会人として必要とされる資質 5	25. 社内の一般文書の作成 5	6. 企業知識および一般知識 1	26. 文書の取扱 1	7. 企業知識および一般知識 2	27. 文書の取扱 2	8. 企業知識および一般知識 3	28. 文書の取扱 3	9. 企業知識および一般知識 4	29. 文書の取扱 4	10. 企業知識および一般知識 5	30. 文書の取扱 5	11. 社交としての文書の作成 1	31. 慶事・弔事に関する作法、等 1	12. 社交としての文書の作成 2	32. 慶事・弔事に関する作法、等 2	13. 社交としての文書の作成 3	33. 慶事・弔事に関する作法、等 3	14. 社交としての文書の作成 4	34. 慶事・弔事に関する作法、等 4	15. 社交としての文書の作成 5	35. 慶事・弔事に関する作法、等 5	16. 営業の文書の作成 1	36. 交際業務に関する知識 等 1	17. 営業の文書の作成 2	37. 交際業務に関する知識 等 2	18. 営業の文書の作成 3	38. 交際業務に関する知識 等 3	19. 営業の文書の作成 4	39. 交際業務に関する知識 等 4	20. 営業の文書の作成 5	40. 交際業務に関する知識 等 5
1. 社会人として必要とされる資質 1	21. 社内の一般文書の作成 1																																								
2. 社会人として必要とされる資質 2	22. 社内の一般文書の作成 2																																								
3. 社会人として必要とされる資質 3	23. 社内の一般文書の作成 3																																								
4. 社会人として必要とされる資質 4	24. 社内の一般文書の作成 4																																								
5. 社会人として必要とされる資質 5	25. 社内の一般文書の作成 5																																								
6. 企業知識および一般知識 1	26. 文書の取扱 1																																								
7. 企業知識および一般知識 2	27. 文書の取扱 2																																								
8. 企業知識および一般知識 3	28. 文書の取扱 3																																								
9. 企業知識および一般知識 4	29. 文書の取扱 4																																								
10. 企業知識および一般知識 5	30. 文書の取扱 5																																								
11. 社交としての文書の作成 1	31. 慶事・弔事に関する作法、等 1																																								
12. 社交としての文書の作成 2	32. 慶事・弔事に関する作法、等 2																																								
13. 社交としての文書の作成 3	33. 慶事・弔事に関する作法、等 3																																								
14. 社交としての文書の作成 4	34. 慶事・弔事に関する作法、等 4																																								
15. 社交としての文書の作成 5	35. 慶事・弔事に関する作法、等 5																																								
16. 営業の文書の作成 1	36. 交際業務に関する知識 等 1																																								
17. 営業の文書の作成 2	37. 交際業務に関する知識 等 2																																								
18. 営業の文書の作成 3	38. 交際業務に関する知識 等 3																																								
19. 営業の文書の作成 4	39. 交際業務に関する知識 等 4																																								
20. 営業の文書の作成 5	40. 交際業務に関する知識 等 5																																								
[テキスト] ビジネス文書に関する標準的テキスト、種々のプリントを中心とする。																																									
[成績評価] 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。																																									

科目名：長文読解 I	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>接続関係や接続構造についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。各種の法科大学院入試問題等の出題傾向を考慮する。</p>			
〔講義・演習項目〕			
1. 適切な接続詞 1	21. 段落の機能 5		
2. 適切な接続詞 2	22. 段落の機能 6		
3. 適切な接続詞 3	23. 段落の機能 7		
4. 適切な接続詞 4	24. 段落の機能 8		
5. 適切な接続詞 5	25. 文章の目的・ねらい 1		
6. 適切な接続詞 6	26. 文章の目的・ねらい 2		
7. 適切な接続詞 7	27. 文章の目的・ねらい 3		
8. 適切な接続詞 8	28. 文章の目的・ねらい 4		
9. 不適切な接続詞 1	29. 文章の目的・ねらい 5		
10. 不適切な接続詞 2	30. 文章の目的・ねらい 6		
11. 不適切な接続詞 3	31. 文章の目的・ねらい 7		
12. 不適切な接続詞 4	32. 文章の目的・ねらい 8		
13. 不適切な接続詞 5	33. 文章整序 1		
14. 不適切な接続詞 6	34. 文章整序 2		
15. 不適切な接続詞 7	35. 文章整序 3		
16. 不適切な接続詞 8	36. 文章整序 4		
17. 段落の機能 1	37. 文章整序 5		
18. 段落の機能 2	38. 文章整序 6		
19. 段落の機能 3	39. 文章整序 7		
20. 段落の機能 4	40. 文章整序 8		
〔テキスト〕			
種々の問題集及び問題プリント。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：プレゼンテーション演習	開講年次：1年 授業時数：80 単位数：4 開講学期：後期 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：本学職員
〔講義主要目標及び講義概要〕	
種々の場面で、他者に対して情報を伝達し、相手に自分の伝えたいメッセージを理解させ納得を得る技術の修得を目指す。	
〔講義・演習項目〕	
1. 「プレゼンテーション」とは1 2. 「プレゼンテーション」とは2 3. 「プレゼンテーション」とは3 4. 「プレゼンテーション」とは4 5. プレゼンテーションの基本構造 6. プレゼンテーションの基本構造（結論）1 7. プレゼンテーションの基本構造（結論）2 8. プレゼンテーションの基本構造（根拠）1 9. プレゼンテーションの基本構造（根拠）2 10. プレゼンテーションの目的をおさえる1 11. プレゼンテーションの目的をおさえる2 12. プレゼンテーションの目的をおさえる3 13. プレゼンテーションの目的をおさえる4 14. 聞き手を理解する 15. 聞き手を分析する 16. 何を伝えるか？1 17. 何を伝えるか？2 18. どのように伝えるか？1 19. どのように伝えるか？2 20. スライド作成（フォントサイズ等）1 21. スライド作成（フォントサイズ等）2 22. スライド作成（フォントサイズ等）3 23. スライド作成（フォントサイズ等）4 24. スライド作成（キーワード抽出）1 25. スライド作成（キーワード抽出）2 26. スライド作成（キーワード抽出）3 27. スライド作成（キーワード抽出）4 28. 自己紹介作成1 29. 自己紹介作成2 30. 自己紹介作成3 31. 自己紹介作成4 32. アイスブレイク作成1 33. アイスブレイク作成2 34. アイスブレイク作成3 35. アイスブレイク作成4 36. 具体的なエピソード作成1 37. 具体的なエピソード作成2 38. 具体的なエピソード作成3 39. 具体的なエピソード作成4 40. 具体的なエピソード作成5	41. 具体例の一般化1 42. 具体例の一般化2 43. 具体例の一般化3 44. 具体例の一般化4 45. ストーリー作成1 46. ストーリー作成2 47. ストーリー作成3 48. ストーリー作成4 49. 印象的なキーワードの提示1 50. 印象的なキーワードの提示2 51. 印象的なキーワードの提示3 52. 印象的なキーワードの提示4 53. 話し方（抑揚のつけ方）1 54. 話し方（抑揚のつけ方）2 55. 話し方（抑揚のつけ方）3 56. 話し方（抑揚のつけ方）4 57. 話し方（話すペース）1 58. 話し方（話すペース）2 59. 話し方（話すペース）3 60. 話し方（話すペース）4 61. 話し方（接続詞の使い方）1 62. 話し方（接続詞の使い方）2 63. 話し方（接続詞の使い方）3 64. 話し方（接続詞の使い方）4 65. 話し方（身振り・手振り）1 66. 話し方（身振り・手振り）2 67. 話し方（身振り・手振り）3 68. 話し方（身振り・手振り）4 69. 時間配分1 70. 時間配分2 71. 時間配分3 72. 時間配分4 73. プレゼンテーション実演1 74. プレゼンテーション実演2 75. プレゼンテーション実演3 76. プレゼンテーション実演4 77. プレゼンテーション実演5 78. プレゼンテーション実演6 79. プレゼンテーション実演7 80. プレゼンテーション実演8
〔テキスト〕	
種々の問題集及び問題プリント。	
〔成績評価〕	
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。	

科目名： 文書研究 I	開講年次： 1 年 授業時数： 80 単位数： 4 開講学期： 前期 種類： 専門科目 分類： 選択必修 授業方法： 演習 担当教員： 本学職員
〔講義主要目標及び講義概要〕	
日常生活のなかで養われた教養および知識をもとにさまざまな文書に対する読解力・内容把握力・構成力および鑑賞力等の基礎を理解することを目指す。	
〔講義・演習項目〕	
1. 単語挿入に関する基本問題 1 2. 単語挿入に関する基本問題 2 3. 単語挿入に関する基本問題 3 4. 単語挿入に関する基本問題 4 5. 文・節の挿入に関する基本問題 1 6. 文・節の挿入に関する基本問題 2 7. 文・節の挿入に関する基本問題 3 8. 文・節の挿入に関する基本問題 4 9. 文章整序に関する基本問題 1 10. 文章整序に関する基本問題 2 11. 文章整序に関する基本問題 3 12. 文章整序に関する基本問題 4 13. 文章の狙い・目的に関する基本問題 1 14. 文章の狙い・目的に関する基本問題 2 15. 文章の狙い・目的に関する基本問題 3 16. 文章の狙い・目的に関する基本問題 4 17. 単純な例示に関する基本問題 1 18. 単純な例示に関する基本問題 2 19. 単純な例示に関する基本問題 3 20. 単純な例示に関する基本問題 4 21. 内容理解に関する基本問題 1 22. 内容理解に関する基本問題 2 23. 内容理解に関する基本問題 3 24. 内容理解に関する基本問題 4 25. 指示語理解に関する基本問題 1 26. 指示語理解に関する基本問題 2 27. 指示語理解に関する基本問題 3 28. 指示語理解に関する基本問題 4 29. 語句理解に関する基本問題 1 30. 語句理解に関する基本問題 2 31. 語句理解に関する基本問題 3 32. 語句理解に関する基本問題 4 33. 理由に関する基本問題 1 34. 理由に関する基本問題 2 35. 理由に関する基本問題 3 36. 理由に関する基本問題 4 37. 文章の構造に関する基本問題 1 38. 文章の構造に関する基本問題 2 39. 文章の構造に関する基本問題 3 40. 文章の構造に関する基本問題 4	41. 内容合致に関する基本問題 1 42. 内容合致に関する基本問題 2 43. 内容合致に関する基本問題 3 44. 内容合致に関する基本問題 4 45. 部分表題に関する基本問題 1 46. 部分表題に関する基本問題 2 47. 部分表題に関する基本問題 3 48. 部分表題に関する基本問題 4 49. 段落の役割に関する基本問題 1 50. 段落の役割に関する基本問題 2 51. 段落の役割に関する基本問題 3 52. 段落の役割に関する基本問題 4 53. 主張に関する基本問題 1 54. 主張に関する基本問題 2 55. 主張に関する基本問題 3 56. 主張に関する基本問題 4 57. 前提に関する基本問題 1 58. 前提に関する基本問題 2 59. 前提に関する基本問題 3 60. 前提に関する基本問題 4 61. 説明に関する基本問題 1 62. 説明に関する基本問題 2 63. 説明に関する基本問題 3 64. 説明に関する基本問題 4 65. 適切な接続詞に関する基本問題 1 66. 適切な接続詞に関する基本問題 2 67. 適切な接続詞に関する基本問題 3 68. 適切な接続詞に関する基本問題 4 69. 図表の把握に関する基本問題 1 70. 図表の把握に関する基本問題 2 71. 図表の把握に関する基本問題 3 72. 図表の把握に関する基本問題 4 73. 時的整理に関する基本問題 1 74. 時的整理に関する基本問題 2 75. 時的整理に関する基本問題 3 76. 時的整理に関する基本問題 4 77. 空欄補充に関する基本問題 1 78. 空欄補充に関する基本問題 2 79. 空欄補充に関する基本問題 3 80. 空欄補充に関する基本問題 4
〔テキスト〕	
文書に関する標準的テキストおよび種々のプリントを中心とする。	
〔成績評価〕	
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。	

科目名： 文書表現研究 I	開講年次： 1 年	授業時数： 40	単位数： 2
	開講学期： 前期	種類： 専門科目	分類： 選択必修
	授業方法： 演習		
	担当教員： 本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>基本的な利益衡量型の事案において、抽出した論点を基に利益衡量し、自己の考え方をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。各種の法科大学院入試問題等の出題傾向を考慮する。</p>			
〔講義・演習項目〕			
1. 利益衡量（基本的思考）	21. 条件を付加した利益衡量事例⑨		
2. 基本的利益衡量事例①	22. 条件を付加した利益衡量事例⑩		
3. 基本的利益衡量事例②	23. 小括		
4. 基本的利益衡量事例③	24. 命題がぶつかりあう事例①		
5. 基本的利益衡量事例④	25. 命題がぶつかりあう事例②		
6. 基本的利益衡量事例⑤	26. 命題がぶつかりあう事例③		
7. 基本的利益衡量事例⑥	27. 命題がぶつかりあう事例④		
8. 基本的利益衡量事例⑦	28. 命題がぶつかりあう事例⑤		
9. 基本的利益衡量事例⑧	29. 命題がぶつかりあう事例⑥		
10. 基本的利益衡量事例⑨	30. 命題がぶつかりあう事例⑦		
11. 基本的利益衡量事例⑩	31. 命題がぶつかりあう事例⑧		
12. 小括	32. 命題がぶつかりあう事例⑧		
13. 条件を付加した利益衡量事例①	33. 命題がぶつかりあう事例⑩		
14. 条件を付加した利益衡量事例②	34. 小括		
15. 条件を付加した利益衡量事例③	35. 市民社会紛争型利益衡量①		
16. 条件を付加した利益衡量事例④	36. 市民社会紛争型利益衡量②		
17. 条件を付加した利益衡量事例⑤	37. 市民社会紛争型利益衡量③		
18. 条件を付加した利益衡量事例⑥	38. 小括		
19. 条件を付加した利益衡量事例⑦	39. まとめ		
20. 条件を付加した利益衡量事例⑧	40. まとめ		
〔テキスト〕			
種々の問題集およびプリント			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名： 分析的判断研究 I	開講年次： 1年	授業時数： 40	単位数： 2
	開講学期： 前期	種類： 専門科目	分類： 選択必修
	授業方法： 演習		
	担当教員： 本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
論理パズルの基本についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。法科大学院進学後に要求される論理的な思考力を想定した理解を目指す。			
〔講義・演習項目〕			
1. 位置関係を把握する問題①	21. 論理式を使って解く問題⑤		
2. 位置関係を把握する問題②	22. 論理式を使って解く問題⑥		
3. 位置関係を把握する問題③	23. 論理式を使って解く問題⑦		
4. 位置関係を把握する問題④	24. 小括		
5. 位置関係を把握する問題⑤	25. スケジュール表を使って解く問題①		
6. 位置関係を把握する問題⑥	26. スケジュール表を使って解く問題②		
7. 位置関係を把握する問題⑦	27. スケジュール表を使って解く問題③		
8. 小括	28. スケジュール表を使って解く問題④		
9. 対応表を使って解く問題①	29. スケジュール表を使って解く問題⑤		
10. 対応表を使って解く問題②	30. スケジュール表を使って解く問題⑥		
11. 対応表を使って解く問題③	31. スケジュール表を使って解く問題⑦		
12. 対応表を使って解く問題④	32. 小括		
13. 対応表を使って解く問題⑤	33. ネットワーク図を使って解く問題①		
14. 対応表を使って解く問題⑥	34. ネットワーク図を使って解く問題②		
15. 対応表を使って解く問題⑦	35. ネットワーク図を使って解く問題③		
16. 小括	36. ネットワーク図を使って解く問題④		
17. 論理式を使って解く問題①	37. ネットワーク図を使って解く問題⑤		
18. 論理式を使って解く問題②	38. 小括		
19. 論理式を使って解く問題③	39. まとめ		
20. 論理式を使って解く問題④	40. まとめ		
〔テキスト〕			
種々の問題集および問題プリント			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名： 法曹時事問題研究 I	開講年次： 1 年	授業時数： 40	単位数： 2
	開講学期： 前期	種類： 専門科目	分類： 選択必修
	授業方法： 演習		
	担当教員： 本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>法曹三者に関する時事的な問題について、基礎的な事項を学び、理解を深めることを目標とする。</p>			
〔講義・演習項目〕			
1. 法曹人口の推移	21. 司法制度に関する時事		
2. 法曹人口 弁護士	22. 旧司法試験制度概要		
3. 法曹人口 検察官	23. 旧司法試験制度の問題点		
4. 法曹人口 裁判官	24. 司法制度改革		
5. 裁判官に関する時事①	25. 裁判員制度①		
6. 裁判官に関する時事②	26. 裁判員制度②		
7. 裁判官に関する時事③	27. 法科大学院制度①		
8. 検察官に関する時事①	28. 法科大学院制度②		
9. 検察官に関する時事②	29. 法科大学院の推移と分析		
10. 検察官に関する時事③	30. 予備試験の趣旨と現状		
11. 検察官に関する時事④	31. 大学法学部のあり方		
12. 弁護士に関する時事①	32. 法科大学院のこれから		
13. 弁護士に関する時事②	33. 司法研修制度①		
14. 弁護士に関する時事③	34. 司法試験制度②		
15. 弁護士に関する時事④	35. 司法試験制度③		
16. 弁護士に関する時事⑤	36. 弁護士登録と弁護士会		
17. 弁護士の地域偏在①	37. 検察官任用とキャリア		
18. 弁護士の地域偏在②	38. 裁判官任用とキャリア		
19. 弁護士業務の変遷	39. まとめ		
20. 弁護士業務の未来	40. まとめ		
〔テキスト〕			
<p>必要に応じてプリント等資料を配布する。</p>			
〔成績評価〕			
<p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			

科目名：論理的判断研究 I	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
推論についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。各種の法科大学院入試問題等の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 演繹に関する基本問題 1	21. 結論導出に関する基本問題 3		
2. 演繹に関する基本問題 2	22. 誤り判別に関する基本問題 1		
3. 演繹に関する基本問題 3	23. 誤り判別に関する基本問題 2		
4. 帰納に関する基本問題 1	24. 誤り判別に関する基本問題 3		
5. 帰納に関する基本問題 2	25. 論理構造把握に関する基本問題 1		
6. 帰納に関する基本問題 3	26. 論理構造把握に関する基本問題 2		
7. 命題に関する基本問題 1	27. 論理構造把握に関する基本問題 3		
8. 命題に関する基本問題 2	28. 見解把握に関する基本問題 1		
9. 命題に関する基本問題 3	29. 見解把握に関する基本問題 2		
10. 論理の飛躍に関する基本問題 1	30. 見解把握に関する基本問題 3		
11. 論理の飛躍に関する基本問題 2	31. 問題点の指摘に関する基本問題 1		
12. 論理の飛躍に関する基本問題 3	32. 問題点の指摘に関する基本問題 2		
13. 黙示の前提に関する基本問題 1	33. 問題点の指摘に関する基本問題 3		
14. 黙示の前提に関する基本問題 2	34. 論点共通認識に関する基本問題 1		
15. 黙示の前提に関する基本問題 3	35. 論点共通認識に関する基本問題 2		
16. 主張の補強・弱体化に関する基本問題 1	36. 論点共通認識に関する基本問題 3		
17. 主張の補強・弱体化に関する基本問題 2	37. その他構造理解に関する基本問題 1		
18. 主張の補強・弱体化に関する基本問題 3	38. その他構造理解に関する基本問題 2		
19. 結論導出に関する基本問題 1	39. その他構造理解に関する基本問題 3		
20. 結論導出に関する基本問題 2	40. その他構造理解に関する基本問題 4		
〔テキスト〕			
種々の問題集及び問題プリント。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名： 社会事情	開講年次： 1年	授業時数： 40	単位数： 2
	開講学期： 後期	種類： 専門科目	分類： 選択必修
	授業方法： 講義		
	担当教員： 本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>法科大学院入試に合格するための「ステートメント」および「口述試験」対策をする。素材は身近な市民生活に絡む紛争を取り上げる。</p>			
〔講義・演習項目〕			
1. ステートメントの作成技法	21. 区画整理を巡る諸問題①		
2. ステートメントの題材選択	22. 区画整理を巡る諸問題②		
3. 口述試験のポイント	23. 債務不履行の諸類型①		
4. 交通法規を巡る諸問題①	24. 債務不履行の諸類型②		
5. 交通法規を巡る諸問題②	25. 不法行為①		
6. 交通法規を巡る諸問題③	26. 不法行為②		
7. 交通法規を巡る諸問題④	27. 不法行為③		
8. 交通法規を巡る諸問題⑤	28. 不法行為④		
9. 交通法規を巡る諸問題⑥	29. 不法行為⑤		
10. 交通法規を巡る諸問題⑦	30. 不法行為⑥		
11. 金銭の貸借を巡る諸問題①	31. 不法行為⑦		
12. 金銭の貸借を巡る諸問題②	32. 不法行為⑧		
13. 金銭の貸借を巡る諸問題③	33. 不法行為⑨		
14. 売買契約に関する諸問題①	34. 不法行為⑩		
15. 売買契約に関する諸問題②	35. オレオレ詐欺		
16. 売買契約に関する諸問題③	36. SNS を用いたいじめ		
17. 売買契約に関する諸問題④	37. 学校での仲間はずれ		
18. 不動産を巡る諸問題①	38. 飲食店のいわゆる「ドタキャン」事例		
19. 不動産を巡る諸問題②	39. まとめ		
20. 不動産を巡る諸問題③	40. まとめ		
〔テキスト〕			
必要に応じてプリントを配布する。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：長文読解Ⅱ	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：後期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>議論の組み立てについての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。各種の法科大学院入試問題等の出題傾向を考慮する。</p>			
〔講義・演習項目〕			
1. 全体の表題 1	21. 全体の中心的主張 5		
2. 全体の表題 2	22. 全体の中心的主張 6		
3. 全体の表題 3	23. 全体の中心的主張 7		
4. 全体の表題 4	24. 全体の中心的主張 8		
5. 全体の表題 5	25. 部分的筆者の主張 1		
6. 全体の表題 6	26. 部分的筆者の主張 2		
7. 全体の表題 7	27. 部分的筆者の主張 3		
8. 全体の表題 8	28. 部分的筆者の主張 4		
9. 部分の表題 1	29. 部分的筆者の主張 5		
10. 部分の表題 2	30. 部分的筆者の主張 6		
11. 部分の表題 3	31. 部分的筆者の主張 7		
12. 部分の表題 4	32. 部分的筆者の主張 8		
13. 部分の表題 5	33. 内容理解 1		
14. 部分の表題 6	34. 内容理解 2		
15. 部分の表題 7	35. 内容理解 3		
16. 部分の表題 8	36. 内容理解 4		
17. 全体の中心的主張 1	37. 内容理解 5		
18. 全体の中心的主張 2	38. 内容理解 6		
19. 全体の中心的主張 3	39. 内容理解 7		
20. 全体の中心的主張 4	40. 内容理解 8		
〔テキスト〕			
種々の問題集及び問題プリント			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名： 文書表現研究Ⅱ	開講年次： 1年	授業時数： 40	単位数： 2
	開講学期： 後期	種類： 専門科目	分類： 選択必修
	授業方法： 演習		
	担当教員： 本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>発展的な利益衡量型の事案において、抽出した論点を基に利益衡量し、自己の考え方をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。各種の法科大学院入試問題等の出題傾向を考慮する。</p>			
〔講義・演習項目〕			
1. 利益衡量(発展編)の概説	21. 死刑制度		
2. 集団と自由①	22. 国家と刑罰		
3. 集団と自由②	23. 動物の権利		
4. 民主主義と独裁主義	24. 積極的差別是正措置①		
5. 法治国家と革命	25. 積極的差別是正措置②		
6. 法治主義と法の支配	26. ジェノサイド		
7. 責任と自由	27. 人工妊娠中絶		
8. 正義と戦争①	28. 代理母		
9. 正義と戦争②	29. 遺伝子診断		
10. 小括	30. 小括		
11. 代理出産	31. 安楽死と尊厳死		
12. SEX と GENDER の境界	32. クローン		
13. 労働と教育	33. AI と倫理		
14. 文化的差異	34. ES細胞 IPS細胞		
15. 多文化主義と文化的少数派	35. 臓器移植		
16. 民族と国家	36. パターナリズム		
17. 国境と人種	37. 福祉国家か夜警国家か		
18. 自治体と属意識	38. まとめ		
19. 価値相対主義	39. まとめ		
20. 小括	40. まとめ		
〔テキスト〕			
種々の問題集および問題プリント			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名： 分析的判断研究Ⅱ	開講年次： 1年	授業時数： 40	単位数： 2
	開講学期： 後期	種類： 専門科目	分類： 選択必修
	授業方法： 演習		
	担当教員： 本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>論理パズルの応用についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。法科大学院進学後に要求される論理的な思考力を想定し、実際に法の運用現場で使いこなせる技法を目指す。</p>			
〔講義・演習項目〕			
1. 位置関係を把握する発展問題①	21. 論理式を使って解く発展問題⑤		
2. 位置関係を把握する発展問題②	22. 論理式を使って解く発展問題⑥		
3. 位置関係を把握する発展問題③	23. 論理式を使って解く発展問題⑦		
4. 位置関係を把握する発展問題④	24. 小括		
5. 位置関係を把握する発展問題⑤	25. スケジュール表を使って解く発展問題①		
6. 位置関係を把握する発展問題⑥	26. スケジュール表を使って解く発展問題②		
7. 位置関係を把握する発展問題⑦	27. スケジュール表を使って解く発展問題③		
8. 小括	28. スケジュール表を使って解く発展問題④		
9. 対応表を使って解く発展問題①	29. スケジュール表を使って解く発展問題⑤		
10. 対応表を使って解く発展問題②	30. スケジュール表を使って解く発展問題⑥		
11. 対応表を使って解く発展問題③	31. スケジュール表を使って解く発展問題⑦		
12. 対応表を使って解く発展問題④	32. 小括		
13. 対応表を使って解く発展問題⑤	33. ネットワーク図を使って解く発展問題①		
14. 対応表を使って解く発展問題⑥	34. ネットワーク図を使って解く発展問題②		
15. 対応表を使って解く発展問題⑦	35. ネットワーク図を使って解く発展問題③		
16. 小括	36. ネットワーク図を使って解く発展問題④		
17. 論理式を使って解く発展問題①	37. ネットワーク図を使って解く発展問題⑤		
18. 論理式を使って解く発展問題②	38. 小括		
19. 論理式を使って解く発展問題③	39. まとめ		
20. 論理式を使って解く発展問題④	40. まとめ		
〔テキスト〕			
種々の問題集および問題プリント			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名： 法曹時事問題研究Ⅱ	開講年次： 1年	授業時数： 40	単位数： 2
	開講学期： 後期	種類： 専門科目	分類： 選択必修
	授業方法： 演習		
	担当教員： 本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>法曹三者に関する時事的な問題について、基礎的な事項を踏まえた上で、それぞれの諸問題に学生間で議論を踏まえ、解決法を探り出す手法をとる。</p>			
〔講義・演習項目〕			
1. 法曹人口の推移からみる問題点	21. 司法制度に関する歴史と考察		
2. 法曹人口の諸問題 弁護士	22. 旧司法試験制度概要		
3. 法曹人口の諸問題 検察官	23. 旧司法試験制度の顕在化した問題点		
4. 法曹人口の諸問題 裁判官	24. 司法制度改革とその背景の研究		
5. 裁判官に関する時事と諸問題①	25. 裁判員制度① 期待されたこと		
6. 裁判官に関する時事と諸問題②	26. 裁判員制度② 浮かび上がってきた問題点		
7. 裁判官に関する時事と諸問題③	27. 法科大学院制度① 旧制度の問題点		
8. 検察官に関する時事と諸問題①	28. 法科大学院制度② 設立 10 年後の運用点検		
9. 検察官に関する時事と諸問題②	29. 法科大学院の推移と分析 予測可能か		
10. 検察官に関する時事と諸問題③	30. 予備試験の趣旨と現状 あり方と問題点		
11. 検察官に関する時事と諸問題④	31. 大学法学部のあり方 変わる存在意義		
12. 弁護士に関する時事と諸問題①	32. 法科大学院のこれから 少数精強校だけか		
13. 弁護士に関する時事と諸問題②	33. 司法研修制度① これまでの歴史を踏まえて		
14. 弁護士に関する時事と諸問題③	34. 司法研修制度② 現状の修習は妥当か		
15. 弁護士に関する時事と諸問題④	35. 司法研修制度③ これからの修習のあり方		
16. 弁護士に関する時事と諸問題⑤	36. 弁護士登録と弁護士会 弁護士会の存在		
17. 弁護士の地域偏在と諸問題①	37. 検察官任用とキャリア 最強の権力か		
18. 弁護士の地域偏在と解決法②	38. 裁判官任用とキャリア 独立しているか		
19. 弁護士業務の変遷と世相	39. まとめ		
20. 弁護士業務の未来と展望	40. まとめ		
〔テキスト〕			
必要に応じてプリント等資料を配布する。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：論理的判断研究Ⅱ	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：後期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
論理構造分析についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。各種の法科大学院入試問題等の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 演繹に関する発展問題 1	21. 結論導出に関する発展問題 3		
2. 演繹に関する発展問題 2	22. 誤り判別に関する発展問題 1		
3. 演繹に関する発展問題 3	23. 誤り判別に関する発展問題 2		
4. 帰納に関する発展問題 1	24. 誤り判別に関する発展問題 3		
5. 帰納に関する発展問題 2	25. 論理構造把握に関する発展問題 1		
6. 帰納に関する発展問題 3	26. 論理構造把握に関する発展問題 2		
7. 命題に関する発展問題 1	27. 論理構造把握に関する発展問題 3		
8. 命題に関する発展問題 2	28. 見解把握に関する発展問題 1		
9. 命題に関する発展問題 3	29. 見解把握に関する発展問題 2		
10. 論理の飛躍に関する発展問題 1	30. 見解把握に関する発展問題 3		
11. 論理の飛躍に関する発展問題 2	31. 問題点の指摘に関する発展問題 1		
12. 論理の飛躍に関する発展問題 3	32. 問題点の指摘に関する発展問題 2		
13. 黙示の前提に関する発展問題 1	33. 問題点の指摘に関する発展問題 3		
14. 黙示の前提に関する発展問題 2	34. 論点共通認識に関する発展問題 1		
15. 黙示の前提に関する発展問題 3	35. 論点共通認識に関する発展問題 2		
16. 主張の補強・弱体化に関する発展問題 1	36. 論点共通認識に関する発展問題 3		
17. 主張の補強・弱体化に関する発展問題 2	37. その他構造理解に関する発展問題 1		
18. 主張の補強・弱体化に関する発展問題 3	38. その他構造理解に関する発展問題 2		
19. 結論導出に関する発展問題 1	39. その他構造理解に関する発展問題 3		
20. 結論導出に関する発展問題 2	40. その他構造理解に関する発展問題 4		
〔テキスト〕			
種々の問題集及び問題プリント。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：民法総合研究 I	開講年次：1年 授業時数：80 単位数：4
	開講学期：前期 種類：専門科目 分類：選択必修
	授業方法：演習
	担当教員：本学職員
〔講義主要目標及び講義概要〕	
民法の修得に向けた総合的な短答演習を行う。民法全体の応用知識の取得を目指し、行政書士試験や司法試験予備試験にもつながるような体系的理解を主眼に置く。	
〔講義・演習項目〕	
1. 権利能力の主体と客体 1	41. 債権の目的 1
2. 権利能力の主体と客体 2	42. 債権の目的 2
3. 権利能力の主体と客体 3	43. 債務不履行 1
4. 権利能力の主体と客体 4	44. 債務不履行 2
5. 意思表示 1	45. 債務不履行 3
6. 意思表示 2	46. 債務不履行 4
7. 意思表示 3	47. 責任財産の保全 1
8. 意思表示 4	48. 責任財産の保全 2
9. 代理 1	49. 責任財産の保全 3
10. 代理 2	50. 責任財産の保全 4
11. 代理 3	51. 多数当事者の債権 1
12. 代理 4	52. 多数当事者の債権 2
13. 無効と取消し 1	53. 債権譲渡 1
14. 無効と取消し 2	54. 債権譲渡 2
15. 条件・期限 1	55. 債権譲渡 3
16. 条件・期限 2	56. 債権譲渡 4
17. 時効 等 1	57. 債権の消滅 1
18. 時効 等 2	58. 債権の消滅 2
19. 時効 等 3	59. 債権の消滅 3
20. 時効 等 4	60. 債権の消滅 4
21. 物権総論 1	61. 契約総論 1
22. 物権総論 2	62. 契約総論 2
23. 物権総論 3	63. 契約総論 3
24. 物権総論 4	64. 契約総論 4
25. 占有権 1	65. 売買契約等の権利移転型契約 1
26. 占有権 2	66. 売買契約等の権利移転型契約 2
27. 占有権 3	67. 売買契約等の権利移転型契約 3
28. 占有権 4	68. 売買契約等の権利移転型契約 4
29. 所有権 1	69. 賃貸借契約等の賃借型契約 1
30. 所有権 2	70. 賃貸借契約等の賃借型契約 2
31. 用益物権 1	71. 賃貸借契約等の賃借型契約 3
32. 用益物権 2	72. 賃貸借契約等の賃借型契約 4
33. 担保物権 1	73. 請負契約等の役務提供型契約 1
34. 担保物権 2	74. 請負契約等の役務提供型契約 2
35. 担保物権 3	75. 請負契約等の役務提供型契約 3
36. 担保物権 4	76. 請負契約等の役務提供型契約 4
37. 抵当権 等 1	77. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 1
38. 抵当権 等 2	78. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 2
39. 抵当権 等 3	79. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 3
40. 抵当権 等 4	80. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 4
〔テキスト〕	
種々の問題集及び問題プリント。	
〔成績評価〕	
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。	

科目名：FP 特講	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：講義		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕 ファイナンシャルプランニングに関する基礎的な問題・技法について学び、よって資産運用の基本的知識および体系的思考の修得を目指す。			
〔講義・演習項目〕			
1. タックスプランニング総論 1	21. 個人住民税 3		
2. タックスプランニング総論 2	22. 不動産の保有・取得に関する税金 1		
3. タックスプランニング総論 3	23. 不動産の保有・取得に関する税金 2		
4. 損益通算 1	24. 不動産の保有・取得に関する税金 3		
5. 損益通算 2	25. 不動産の有効活用 1		
6. 損益通算 3	26. 不動産の有効活用 2		
7. 所得控除 1	27. 不動産の有効活用 3		
8. 所得控除 2	28. 不動産の証券化 1		
9. 所得控除 3	29. 不動産の証券化 2		
10. 税額控除 1	30. 不動産の証券化 3		
11. 税額控除 2	31. 相続財産の評価 1		
12. 税額控除 3	32. 相続財産の評価 2		
13. 源泉徴収制度 1	33. 相続財産の評価 3		
14. 源泉徴収制度 2	34. 相続財産の評価 4		
15. 確定申告 1	35. 不動産の相続対策 1		
16. 確定申告 2	36. 不動産の相続対策 2		
17. 青色申告 1	37. 不動産の相続対策 3		
18. 青色申告 2	38. 不動産の相続対策 4		
19. 個人住民税 1	39. 不動産の相続対策 5		
20. 個人住民税 2	40. 不動産の相続対策 6		
〔テキスト〕 ファイナンシャルプランニングに関する基本的テキスト、種々の問題プリント等を中心とする。			
〔成績評価〕 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：FP 総合研究	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2																																								
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修																																								
	授業方法：演習																																										
	担当教員：本学職員																																										
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>ファイナンシャルプランニングの実務レベルの技法修得に向けた総合的な短答演習及び実務演習を行う。資産運用の基本的知識の取得を目指し、FP 技能士試験や CFP®にもつながるような体系的理解を主眼に置く。</p>																																											
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ファイナンシャル・プランニングのプロセス 1</td> <td>21. 金融資産運用 2</td> </tr> <tr> <td>2. ファイナンシャル・プランニングのプロセス 2</td> <td>22. 金融資産運用 3</td> </tr> <tr> <td>3. ファイナンシャル・プランニングのプロセス 3</td> <td>23. 金融資産運用 4</td> </tr> <tr> <td>4. 顧客のファイナンス状況の分析と評価 1</td> <td>24. 金融資産運用 5</td> </tr> <tr> <td>5. 顧客のファイナンス状況の分析と評価 2</td> <td>25. タックスプランニング 1</td> </tr> <tr> <td>6. 顧客のファイナンス状況の分析と評価 3</td> <td>26. タックスプランニング 2</td> </tr> <tr> <td>7. プランの検討・作成と提示 1</td> <td>27. タックスプランニング 3</td> </tr> <tr> <td>8. プランの検討・作成と提示 2</td> <td>28. タックスプランニング 4</td> </tr> <tr> <td>9. プランの検討・作成と提示 3</td> <td>29. タックスプランニング 5</td> </tr> <tr> <td>10. ライフプランニングと資金計画 1</td> <td>30. 不動産運用 1</td> </tr> <tr> <td>11. ライフプランニングと資金計画 2</td> <td>31. 不動産運用 2</td> </tr> <tr> <td>12. ライフプランニングと資金計画 3</td> <td>32. 不動産運用 3</td> </tr> <tr> <td>13. ライフプランニングと資金計画 4</td> <td>33. 不動産運用 4</td> </tr> <tr> <td>14. ライフプランニングと資金計画 5</td> <td>34. 不動産運用 5</td> </tr> <tr> <td>15. リスク管理 1</td> <td>35. 相続・事業承継 1</td> </tr> <tr> <td>16. リスク管理 2</td> <td>36. 相続・事業承継 2</td> </tr> <tr> <td>17. リスク管理 3</td> <td>37. 相続・事業承継 3</td> </tr> <tr> <td>18. リスク管理 4</td> <td>38. 相続・事業承継 4</td> </tr> <tr> <td>19. リスク管理 5</td> <td>39. 相続・事業承継 5</td> </tr> <tr> <td>20. 金融資産運用 1</td> <td>40. 相続・事業承継 6</td> </tr> </table>				1. ファイナンシャル・プランニングのプロセス 1	21. 金融資産運用 2	2. ファイナンシャル・プランニングのプロセス 2	22. 金融資産運用 3	3. ファイナンシャル・プランニングのプロセス 3	23. 金融資産運用 4	4. 顧客のファイナンス状況の分析と評価 1	24. 金融資産運用 5	5. 顧客のファイナンス状況の分析と評価 2	25. タックスプランニング 1	6. 顧客のファイナンス状況の分析と評価 3	26. タックスプランニング 2	7. プランの検討・作成と提示 1	27. タックスプランニング 3	8. プランの検討・作成と提示 2	28. タックスプランニング 4	9. プランの検討・作成と提示 3	29. タックスプランニング 5	10. ライフプランニングと資金計画 1	30. 不動産運用 1	11. ライフプランニングと資金計画 2	31. 不動産運用 2	12. ライフプランニングと資金計画 3	32. 不動産運用 3	13. ライフプランニングと資金計画 4	33. 不動産運用 4	14. ライフプランニングと資金計画 5	34. 不動産運用 5	15. リスク管理 1	35. 相続・事業承継 1	16. リスク管理 2	36. 相続・事業承継 2	17. リスク管理 3	37. 相続・事業承継 3	18. リスク管理 4	38. 相続・事業承継 4	19. リスク管理 5	39. 相続・事業承継 5	20. 金融資産運用 1	40. 相続・事業承継 6
1. ファイナンシャル・プランニングのプロセス 1	21. 金融資産運用 2																																										
2. ファイナンシャル・プランニングのプロセス 2	22. 金融資産運用 3																																										
3. ファイナンシャル・プランニングのプロセス 3	23. 金融資産運用 4																																										
4. 顧客のファイナンス状況の分析と評価 1	24. 金融資産運用 5																																										
5. 顧客のファイナンス状況の分析と評価 2	25. タックスプランニング 1																																										
6. 顧客のファイナンス状況の分析と評価 3	26. タックスプランニング 2																																										
7. プランの検討・作成と提示 1	27. タックスプランニング 3																																										
8. プランの検討・作成と提示 2	28. タックスプランニング 4																																										
9. プランの検討・作成と提示 3	29. タックスプランニング 5																																										
10. ライフプランニングと資金計画 1	30. 不動産運用 1																																										
11. ライフプランニングと資金計画 2	31. 不動産運用 2																																										
12. ライフプランニングと資金計画 3	32. 不動産運用 3																																										
13. ライフプランニングと資金計画 4	33. 不動産運用 4																																										
14. ライフプランニングと資金計画 5	34. 不動産運用 5																																										
15. リスク管理 1	35. 相続・事業承継 1																																										
16. リスク管理 2	36. 相続・事業承継 2																																										
17. リスク管理 3	37. 相続・事業承継 3																																										
18. リスク管理 4	38. 相続・事業承継 4																																										
19. リスク管理 5	39. 相続・事業承継 5																																										
20. 金融資産運用 1	40. 相続・事業承継 6																																										
<p>〔テキスト〕</p> <p>種々の問題集及び問題プリントを中心とする。</p>																																											
<p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>																																											

科目名：マンション管理法特講	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：講義		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
マンション管理に関する基礎的な問題について学び、よってマンション管理の基本的知識および体系的思考の修得を目指す。			
〔講義・演習項目〕			
1. マンション管理適正化法1	41. マンションの増改築等に関する法律5		
2. マンション管理適正化法2	42. マンションの増改築等に関する法律6		
3. マンション管理適正化法3	43. 管理組合の業務1		
4. マンション管理適正化法4	44. 管理組合の業務2		
5. マンション管理適正化法5	45. 管理組合の業務3		
6. マンション管理適正化法6	46. 管理組合の業務4		
7. マンション標準管理規約1	47. 管理組合の業務5		
8. マンション標準管理規約2	48. 管理組合の業務6		
9. マンション標準管理規約3	49. 管理組合の組織及び運営1		
10. マンション標準管理規約4	50. 管理組合の組織及び運営2		
11. マンション標準管理規約5	51. 管理組合の組織及び運営3		
12. マンション標準管理規約6	52. 管理組合の組織及び運営4		
13. マンション建替法1	53. 管理組合の組織及び運営5		
14. マンション建替法2	54. 管理組合の組織及び運営6		
15. マンション建替法3	55. 管理組合の会計・税務・保険1		
16. マンション建替法4	56. 管理組合の会計・税務・保険2		
17. マンション建替法5	57. 管理組合の会計・税務・保険3		
18. マンション建替法6	58. 管理組合の会計・税務・保険4		
19. 担保責任1	59. 管理組合の会計・税務・保険5		
20. 担保責任2	60. 管理組合の会計・税務・保険6		
21. 担保責任3	61. 管理組合の業務委託1		
22. 担保責任4	62. 管理組合の業務委託2		
23. 担保責任5	63. 管理組合の業務委託3		
24. 担保責任6	64. 管理組合の業務委託4		
25. マンションの権利等に関するその他の法律1	65. 管理組合の業務委託5		
26. マンションの権利等に関するその他の法律2	66. 管理組合の業務委託6		
27. マンションの権利等に関するその他の法律3	67. マンション管理標準指針1		
28. マンションの権利等に関するその他の法律4	68. マンション管理標準指針2		
29. マンションの権利等に関するその他の法律5	69. マンション管理標準指針3		
30. マンションの権利等に関するその他の法律6	70. マンション管理標準指針4		
31. マンションの維持管理に関する法律1	71. マンション管理標準指針5		
32. マンションの維持管理に関する法律2	72. マンション管理標準指針6		
33. マンションの維持管理に関する法律3	73. マンションみらいネット1		
34. マンションの維持管理に関する法律4	74. マンションみらいネット2		
35. マンションの維持管理に関する法律5	75. マンションみらいネット3		
36. マンションの維持管理に関する法律6	76. マンションみらいネット4		
37. マンションの増改築等に関する法律1	77. マンション管理サポートネット1		
38. マンションの増改築等に関する法律2	78. マンション管理サポートネット2		
39. マンションの増改築等に関する法律3	79. マンション管理サポートネット3		
40. マンションの増改築等に関する法律4	80. マンション管理サポートネット4		
〔テキスト〕			
マンション管理の標準的なテキスト、種々の問題集及び問題プリント、判例集等を中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：マンション設備管理特講	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：講義		
	担当教員：本学職員		

[講義主要目標及び講義概要]

設備・管理を中心とするマンションに関する法律等の各条文の意義・要件・効果を分析・整理するとともに、各条文の解釈において生起する重要問題について、判例及び通説的な見解の考察をすすめ、よってマンション設備管理の基本的知識および体系的思考の修得を目指す。

[講義・演習項目]

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. マンションの建替えに関する諸法令 1 | 41. 建築物省エネ法 1 |
| 2. マンションの建替えに関する諸法令 2 | 42. 建築物省エネ法 2 |
| 3. マンションの建替えに関する諸法令 3 | 43. 建築物省エネ法 3 |
| 4. マンションの建替えに関する諸法令 4 | 44. 建築物省エネ法 4 |
| 5. マンションの建替えに関する諸法令 5 | 45. 警備業法 1 |
| 6. マンションの建替えに関する諸法令 6 | 46. 警備業法 2 |
| 7. マンション標準管理規約 1 | 47. 自動車保管場所確保法 1 |
| 8. マンション標準管理規約 2 | 48. 自動車保管場所確保法 2 |
| 9. マンション標準管理規約 3 | 49. 動物愛護管理法 1 |
| 10. マンション標準管理規約 4 | 50. 動物愛護管理法 2 |
| 11. マンション標準管理規約 5 | 51. エレベーター設備 1 |
| 12. マンション標準管理規約 6 | 52. エレベーター設備 2 |
| 13. マンション標準管理委託契約書 1 | 53. 消防法・消防設備 1 |
| 14. マンション標準管理委託契約書 2 | 54. 消防法・消防設備 2 |
| 15. マンション標準管理委託契約書 3 | 55. 消防法・消防設備 3 |
| 16. マンション標準管理委託契約書 4 | 56. 消防法・消防設備 4 |
| 17. マンション標準管理委託契約書 5 | 57. 消防法・消防設備 5 |
| 18. マンション標準管理委託契約書 6 | 58. 水道法・給水排水設備 1 |
| 19. 管理組合の会計等 1 | 59. 水道法・給水排水設備 2 |
| 20. 管理組合の会計等 2 | 60. 水道法・給水排水設備 3 |
| 21. 管理組合の会計等 3 | 61. 水道法・給水排水設備 4 |
| 22. 管理組合の会計等 4 | 62. 水道法・給水排水設備 5 |
| 23. 管理組合の会計等 5 | 63. 浄化槽法 1 |
| 24. 管理組合の会計等 6 | 64. 浄化槽法 2 |
| 25. マンション管理の適正化の推進に関する法律 1 | 65. 浄化槽法 3 |
| 26. マンション管理の適正化の推進に関する法律 2 | 66. 電気設備 1 |
| 27. マンション管理の適正化の推進に関する法律 3 | 67. 電気設備 2 |
| 28. マンション管理の適正化の推進に関する法律 4 | 68. 電気設備 3 |
| 29. マンション管理の適正化の推進に関する法律 5 | 69. 電気設備 4 |
| 30. マンション管理の適正化の推進に関する法律 6 | 70. 電気設備 5 |
| 31. 被災区分所有建物の再建等に関する特別措置法 1 | 71. 建築構造 1 |
| 32. 被災区分所有建物の再建等に関する特別措置法 2 | 72. 建築構造 2 |
| 33. 被災区分所有建物の再建等に関する特別措置法 3 | 73. 建築構造 3 |
| 34. 耐震改修法 1 | 74. 建築構造 4 |
| 35. 耐震改修法 2 | 75. 建築構造 5 |
| 36. 耐震改修法 3 | 76. マンションの維持・保全 1 |
| 37. 耐震改修法 4 | 77. マンションの維持・保全 2 |
| 38. バリアフリー法 1 | 78. マンションの維持・保全 3 |
| 39. バリアフリー法 2 | 79. マンションの維持・保全 4 |
| 40. バリアフリー法 3 | 80. マンションの維持・保全 5 |

[テキスト]

設備管理を中心としたマンションに関する法律等の基本的テキスト、種々の問題集及び問題プリント、判例集等を中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：制限法令特講	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：講義		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
制限法令に関する横断的問題について、判例および通説的な見解の考察をすすめ、よって制限法令全体の理解を深める。			
〔講義・演習項目〕			
1. 都市計画法を中心として1	41. 農地法を中心として1		
2. 都市計画法を中心として2	42. 農地法を中心として2		
3. 都市計画法を中心として3	43. 農地法を中心として3		
4. 都市計画法を中心として4	44. 農地法を中心として4		
5. 都市計画法を中心として5	45. 農地法を中心として5		
6. 都市計画法を中心として6	46. 農地法を中心として6		
7. 都市計画法を中心として7	47. 農地法を中心として7		
8. 都市計画法を中心として8	48. 農地法を中心として8		
9. 都市計画法を中心として9	49. 農地法を中心として9		
10. 都市計画法を中心として10	50. 農地法を中心として10		
11. 都市計画法を中心として11	51. 農地法を中心として11		
12. 都市計画法を中心として12	52. 農地法を中心として12		
13. 都市計画法を中心として13	53. 農地法を中心として13		
14. 都市計画法を中心として14	54. 農地法を中心として14		
15. 都市計画法を中心として15	55. 農地法を中心として15		
16. 都市計画法を中心として16	56. 農地法を中心として16		
17. 都市計画法を中心として17	57. 土地区画整理法を中心として1		
18. 都市計画法を中心として18	58. 土地区画整理法を中心として2		
19. 都市計画法を中心として19	59. 土地区画整理法を中心として3		
20. 都市計画法を中心として20	60. 土地区画整理法を中心として4		
21. 建築基準法を中心として1	61. 土地区画整理法を中心として5		
22. 建築基準法を中心として2	62. 土地区画整理法を中心として6		
23. 建築基準法を中心として3	63. 土地区画整理法を中心として7		
24. 建築基準法を中心として4	64. 土地区画整理法を中心として8		
25. 建築基準法を中心として5	65. 土地区画整理法を中心として9		
26. 建築基準法を中心として6	66. 土地区画整理法を中心として10		
27. 建築基準法を中心として7	67. 土地区画整理法を中心として11		
28. 建築基準法を中心として8	68. 土地区画整理法を中心として12		
29. 建築基準法を中心として9	69. 土地区画整理法を中心として13		
30. 建築基準法を中心として10	70. 土地区画整理法を中心として14		
31. 建築基準法を中心として11	71. 宅地造成等規制法を中心として1		
32. 建築基準法を中心として12	72. 宅地造成等規制法を中心として2		
33. 建築基準法を中心として13	73. 宅地造成等規制法を中心として3		
34. 建築基準法を中心として14	74. 宅地造成等規制法を中心として4		
35. 建築基準法を中心として15	75. 宅地造成等規制法を中心として5		
36. 建築基準法を中心として16	76. 宅地造成等規制法を中心として6		
37. 建築基準法を中心として17	77. その他の法令上の制限1		
38. 建築基準法を中心として18	78. その他の法令上の制限2		
39. 建築基準法を中心として19	79. その他の法令上の制限3		
40. 建築基準法を中心として20	80. その他の法令上の制限4		
〔テキスト〕			
法令上の制限の標準的テキスト、種々の問題集及び問題プリント、判例集等を中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：宅建業法特講 I	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：講義		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
宅建業法全体を横断する問題について、判例および通説的な見解の考察をすすめ、よって宅建業法全体の理解を深める。			
〔講義・演習項目〕			
1. 宅建業・事務所・免許・宅建士 1	41. 37条書面 6		
2. 宅建業・事務所・免許・宅建士 2	42. 37条書面 7		
3. 宅建業・事務所・免許・宅建士 3	43. 供託所等に関する説明 1		
4. 宅建業・事務所・免許・宅建士 4	44. 供託所等に関する説明 2		
5. 宅建業・事務所・免許・宅建士 5	45. 供託所等に関する説明 3		
6. 宅建業・事務所・免許・宅建士 6	46. 供託所等に関する説明 4		
7. 宅建業・事務所・免許・宅建士 7	47. 供託所等に関する説明 5		
8. 営業保証金・弁済業務保証金 1	48. 供託所等に関する説明 6		
9. 営業保証金・弁済業務保証金 2	49. 供託所等に関する説明 7		
10. 営業保証金・弁済業務保証金 3	50. 供託所等に関する説明 8		
11. 営業保証金・弁済業務保証金 4	51. 自ら売主制限 1		
12. 営業保証金・弁済業務保証金 5	52. 自ら売主制限 2		
13. 営業保証金・弁済業務保証金 6	53. 自ら売主制限 3		
14. 営業保証金・弁済業務保証金 7	54. 自ら売主制限 4		
15. 媒介・代理 1	55. 自ら売主制限 5		
16. 媒介・代理 2	56. 自ら売主制限 6		
17. 媒介・代理 3	57. 自ら売主制限 7		
18. 媒介・代理 4	58. 住宅瑕疵担保履行法 1		
19. 媒介・代理 5	59. 住宅瑕疵担保履行法 2		
20. 媒介・代理 6	60. 住宅瑕疵担保履行法 3		
21. 媒介・代理 7	61. 住宅瑕疵担保履行法 4		
22. 広告 1	62. 住宅瑕疵担保履行法 5		
23. 広告 2	63. 住宅瑕疵担保履行法 6		
24. 広告 3	64. 住宅瑕疵担保履行法 7		
25. 広告 4	65. 報酬額の制限 1		
26. 広告 5	66. 報酬額の制限 2		
27. 広告 6	67. 報酬額の制限 3		
28. 広告 7	68. 報酬額の制限 4		
29. 重要事項の説明 1	69. 報酬額の制限 5		
30. 重要事項の説明 2	70. 報酬額の制限 6		
31. 重要事項の説明 3	71. 報酬額の制限 7		
32. 重要事項の説明 4	72. 監督処分・罰則 等 1		
33. 重要事項の説明 5	73. 監督処分・罰則 等 2		
34. 重要事項の説明 6	74. 監督処分・罰則 等 3		
35. 重要事項の説明 7	75. 監督処分・罰則 等 4		
36. 37条書面 1	76. 監督処分・罰則 等 5		
37. 37条書面 2	77. 監督処分・罰則 等 6		
38. 37条書面 3	78. 監督処分・罰則 等 7		
39. 37条書面 4	79. 監督処分・罰則 等 8		
40. 37条書面 5	80. 監督処分・罰則 等 9		
〔テキスト〕			
宅建業法の標準テキスト、種々の問題集及び問題プリント、判例集等を中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：宅建業法特講Ⅱ	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：講義		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
宅建業法を中心とした民法等他の法令との関係について、判例および通説的な見解の考察をすすめ、よって宅建業法全体の理解を深める。宅地建物取引士試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 宅建業・事務所・免許・宅建士1	41. 37条書面6		
2. 宅建業・事務所・免許・宅建士2	42. 37条書面7		
3. 宅建業・事務所・免許・宅建士3	43. 供託所等に関する説明1		
4. 宅建業・事務所・免許・宅建士4	44. 供託所等に関する説明2		
5. 宅建業・事務所・免許・宅建士5	45. 供託所等に関する説明3		
6. 宅建業・事務所・免許・宅建士6	46. 供託所等に関する説明4		
7. 宅建業・事務所・免許・宅建士7	47. 供託所等に関する説明5		
8. 営業保証金・弁済業務保証金1	48. 供託所等に関する説明6		
9. 営業保証金・弁済業務保証金2	49. 供託所等に関する説明7		
10. 営業保証金・弁済業務保証金3	50. 供託所等に関する説明8		
11. 営業保証金・弁済業務保証金4	51. 自ら売主制限1		
12. 営業保証金・弁済業務保証金5	52. 自ら売主制限2		
13. 営業保証金・弁済業務保証金6	53. 自ら売主制限3		
14. 営業保証金・弁済業務保証金7	54. 自ら売主制限4		
15. 媒介・代理1	55. 自ら売主制限5		
16. 媒介・代理2	56. 自ら売主制限6		
17. 媒介・代理3	57. 自ら売主制限7		
18. 媒介・代理4	58. 住宅瑕疵担保履行法1		
19. 媒介・代理5	59. 住宅瑕疵担保履行法2		
20. 媒介・代理6	60. 住宅瑕疵担保履行法3		
21. 媒介・代理7	61. 住宅瑕疵担保履行法4		
22. 広告1	62. 住宅瑕疵担保履行法5		
23. 広告2	63. 住宅瑕疵担保履行法6		
24. 広告3	64. 住宅瑕疵担保履行法7		
25. 広告4	65. 報酬額の制限1		
26. 広告5	66. 報酬額の制限2		
27. 広告6	67. 報酬額の制限3		
28. 広告7	68. 報酬額の制限4		
29. 重要事項の説明1	69. 報酬額の制限5		
30. 重要事項の説明2	70. 報酬額の制限6		
31. 重要事項の説明3	71. 報酬額の制限7		
32. 重要事項の説明4	72. 監督処分・罰則等1		
33. 重要事項の説明5	73. 監督処分・罰則等2		
34. 重要事項の説明6	74. 監督処分・罰則等3		
35. 重要事項の説明7	75. 監督処分・罰則等4		
36. 37条書面1	76. 監督処分・罰則等5		
37. 37条書面2	77. 監督処分・罰則等6		
38. 37条書面3	78. 監督処分・罰則等7		
39. 37条書面4	79. 監督処分・罰則等8		
40. 37条書面5	80. 監督処分・罰則等9		
〔テキスト〕			
宅建業法の標準テキスト、種々の問題集及び問題プリント、判例集等を中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：賃貸管理法特講	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：講義		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
賃貸不動産管理に関するさまざまな問題について実例を通して具体的に学び、賃貸不動産管理業務者及び賃貸不動産経営管理士の実務に直結する知識を修得する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 賃貸不動産をとりまく社会的情勢と今後の動向1	41. 家賃債務保証業者登録制度1		
2. 賃貸不動産をとりまく社会的情勢と今後の動向2	42. 家賃債務保証業者登録制度2		
3. 賃貸住宅ストックの状況	43. 特定賃貸借契約1		
4. 住生活基本法・住生活基本計画1	44. 特定賃貸借契約2		
5. 住生活基本法・住生活基本計画2	45. 特定賃貸借契約3		
6. 空き家対策1	46. 特定賃貸借契約4		
7. 空き家対策2	47. 特定賃貸借契約5		
8. 空き家対策3	48. 特定賃貸借契約6		
9. 空き家対策4	49. 監督処分・罰則1		
10. 住宅宿泊事業法1	50. 監督処分・罰則2		
11. 住宅宿泊事業法2	51. 監督処分・罰則3		
12. 住宅宿泊事業法3	52. 倫理憲章1		
13. 賃貸住宅管理業者制度1	53. 倫理憲章2		
14. 賃貸住宅管理業者制度2	54. 募集広告・審査に関する規定1		
15. 賃貸住宅管理業者制度3	55. 募集広告・審査に関する規定2		
16. 賃貸住宅管理業者制度4	56. 募集広告・審査に関する規定3		
17. 管理事務・基幹事務1	57. 募集広告・審査に関する規定4		
18. 管理事務・基幹事務2	58. 未収賃料の回収手続き1		
19. 管理事務・基幹事務3	59. 未収賃料の回収手続き2		
20. 管理事務・基幹事務4	60. 未収賃料の回収手続き3		
21. 賃貸不動産経営管理士の設置義務1	61. 原状回復ガイドライン1		
22. 賃貸不動産経営管理士の設置義務2	62. 原状回復ガイドライン2		
23. 賃貸不動産経営管理士の設置義務3	63. 原状回復ガイドライン3		
24. 重要事項説明及び重要事項説明書1	64. 原状回復ガイドライン4		
25. 重要事項説明及び重要事項説明書2	65. 原状回復ガイドライン5		
26. 重要事項説明及び重要事項説明書3	66. 原状回復ガイドライン6		
27. 重要事項説明及び重要事項説明書4	67. 賃貸住宅の維持・保全1		
28. 重要事項説明及び重要事項説明書5	68. 賃貸住宅の維持・保全2		
29. 重要事項説明及び重要事項説明書6	69. 賃貸住宅の維持・保全3		
30. 管理業者の登録・変更手続1	70. 賃貸住宅の維持・保全4		
31. 管理業者の登録・変更手続2	71. 賃貸住宅の維持・保全5		
32. 管理業者の登録・変更手続3	72. 賃貸不動産経営と保険1		
33. 業務及び財産の分別管理の状況1	73. 賃貸不動産経営と保険2		
34. 業務及び財産の分別管理の状況2	74. 賃貸不動産経営と保険3		
35. 業務及び財産の分別管理の状況3	75. 賃貸不動産経営と保険4		
36. 業務及び財産の分別管理の状況4	76. 賃貸不動産経営と保険5		
37. 業務及び財産の分別管理の状況5	77. 個人情報保護に関する法律1		
38. 住宅セーフティネット法1	78. 個人情報保護に関する法律2		
39. 住宅セーフティネット法2	79. 個人情報保護に関する法律3		
40. 住宅セーフティネット法3	80. 個人情報保護に関する法律4		
〔テキスト〕			
賃貸不動産管理の標準的なテキスト、種々の問題集及び問題プリント、判例集等を中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：区分所有法特講	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	開講学期：前期	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：講義		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
区分所有法に関する応用問題について、判例および通説的な見解の考察をすすめ、よって区分所有法全体の理解を深める。			
〔講義・演習項目〕			
1. 区分所有建物 1	41. 義務違反者に対する措置 1		
2. 区分所有建物 2	42. 義務違反者に対する措置 2		
3. 区分所有建物 3	43. 義務違反者に対する措置 3		
4. 区分所有建物 4	44. 義務違反者に対する措置 4		
5. 区分所有建物 5	45. 義務違反者に対する措置 5		
6. 区分所有建物 6	46. 義務違反者に対する措置 6		
7. 区分所有建物 7	47. 義務違反者に対する措置 7		
8. 区分所有建物 8	48. 義務違反者に対する措置 8		
9. 区分所有建物 9	49. 義務違反者に対する措置 9		
10. 区分所有建物 10	50. 義務違反者に対する措置 10		
11. 敷地・敷地利用権 1	51. 復旧・建替え 1		
12. 敷地・敷地利用権 2	52. 復旧・建替え 2		
13. 敷地・敷地利用権 3	53. 復旧・建替え 3		
14. 敷地・敷地利用権 4	54. 復旧・建替え 4		
15. 敷地・敷地利用権 5	55. 復旧・建替え 5		
16. 敷地・敷地利用権 6	56. 復旧・建替え 6		
17. 敷地・敷地利用権 7	57. 復旧・建替え 7		
18. 敷地・敷地利用権 8	58. 復旧・建替え 8		
19. 敷地・敷地利用権 9	59. 復旧・建替え 9		
20. 敷地・敷地利用権 10	60. 復旧・建替え 10		
21. 管理者・管理組合法人 1	61. 団地 1		
22. 管理者・管理組合法人 2	62. 団地 2		
23. 管理者・管理組合法人 3	63. 団地 3		
24. 管理者・管理組合法人 4	64. 団地 4		
25. 管理者・管理組合法人 5	65. 団地 5		
26. 管理者・管理組合法人 6	66. 団地 6		
27. 管理者・管理組合法人 7	67. 団地 7		
28. 管理者・管理組合法人 8	68. 団地 8		
29. 管理者・管理組合法人 9	69. 団地 9		
30. 管理者・管理組合法人 10	70. 団地 10		
31. 規約・集会 1	71. 罰則 等 1		
32. 規約・集会 2	72. 罰則 等 2		
33. 規約・集会 3	73. 罰則 等 3		
34. 規約・集会 4	74. 罰則 等 4		
35. 規約・集会 5	75. 罰則 等 5		
36. 規約・集会 6	76. 罰則 等 6		
37. 規約・集会 7	77. 罰則 等 7		
38. 規約・集会 8	78. 罰則 等 8		
39. 規約・集会 9	79. 罰則 等 9		
40. 規約・集会 10	80. 罰則 等 10		
〔テキスト〕			
区分所有法の標準的なテキスト、種々の問題集及び問題プリント、判例集等を中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：卒業研究Ⅱ	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	開講学期：通年	種類：専門科目	分類：選択必修
	授業方法：演習		
	担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
専門学校での学習の集大成として、就職先の業界研究や官庁研究など各学生がテーマを考え論文を作成する。			
〔講義・演習項目〕			
1. 卒業研究概要 1	41. 下書き作成 27		
2. 卒業研究概要 2	42. 下書き作成 28		
3. 卒業研究概要 3	43. 下書き作成 29		
4. テーマの研究 1	44. 下書き作成 30		
5. テーマの研究 2	45. 下書き作成 31		
6. テーマの研究 3	46. 下書き作成 32		
7. 情報収集 1	47. 下書き作成 33		
8. 情報収集 2	48. 下書き作成 34		
9. 情報収集 3	49. 下書き作成 35		
10. 情報収集 4	50. 下書き作成 36		
11. 情報収集 5	51. 清書作成 1		
12. 情報収集 6	52. 清書作成 2		
13. 情報収集 7	53. 清書作成 3		
14. 情報収集 8	54. 清書作成 4		
15. 下書き作成 1	55. 清書作成 5		
16. 下書き作成 2	56. 清書作成 6		
17. 下書き作成 3	57. 清書作成 7		
18. 下書き作成 4	58. 清書作成 8		
19. 下書き作成 5	59. 清書作成 9		
20. 下書き作成 6	60. 清書作成 10		
21. 下書き作成 7	61. 清書作成 11		
22. 下書き作成 8	62. 清書作成 12		
23. 下書き作成 9	63. 清書作成 13		
24. 下書き作成 10	64. 清書作成 14		
25. 下書き作成 11	65. 清書作成 15		
26. 下書き作成 12	66. 清書作成 16		
27. 下書き作成 13	67. 清書作成 17		
28. 下書き作成 14	68. 清書作成 18		
29. 下書き作成 15	69. 清書作成 19		
30. 下書き作成 16	70. 清書作成 20		
31. 下書き作成 17	71. 清書作成 21		
32. 下書き作成 18	72. 清書作成 22		
33. 下書き作成 19	73. 清書作成 23		
34. 下書き作成 20	74. 清書作成 24		
35. 下書き作成 21	75. 清書作成 25		
36. 下書き作成 22	76. 清書作成 26		
37. 下書き作成 23	77. 清書作成 27		
38. 下書き作成 24	78. 清書作成 28		
39. 下書き作成 25	79. 清書作成 29		
40. 下書き作成 26	80. 製本 等		
〔テキスト〕			
各学生が収集した卒業研究に関する資料を中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、提出物、授業態度等を総合して判断する。			

科目名：漢字能力 I

開講年次：1年

授業時数：80

単位数：4

開講学期：後期

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：本学職員

〔講義主要目標及び講義概要〕

すべての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使える能力を身につけ、漢字能力検定合格を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 読み1 | 41. 読み1 |
| 2. 読み2 | 42. 読み2 |
| 3. 読み3 | 43. 読み3 |
| 4. 読み4 | 44. 読み4 |
| 5. 部首1 | 45. 部首1 |
| 6. 部首2 | 46. 部首2 |
| 7. 部首3 | 47. 部首3 |
| 8. 部首4 | 48. 部首4 |
| 9. 熟語の構成1 | 49. 熟語の構成1 |
| 10. 熟語の構成2 | 50. 熟語の構成2 |
| 11. 熟語の構成3 | 51. 熟語の構成3 |
| 12. 熟語の構成4 | 52. 熟語の構成4 |
| 13. 四字熟語（書き）1 | 53. 四字熟語（書き）1 |
| 14. 四字熟語（書き）2 | 54. 四字熟語（書き）2 |
| 15. 四字熟語（書き）3 | 55. 四字熟語（書き）3 |
| 16. 四字熟語（書き）4 | 56. 四字熟語（書き）4 |
| 17. 四字熟語（意味）1 | 57. 四字熟語（意味）1 |
| 18. 四字熟語（意味）2 | 58. 四字熟語（意味）2 |
| 19. 四字熟語（意味）3 | 59. 四字熟語（意味）3 |
| 20. 四字熟語（意味）4 | 60. 四字熟語（意味）4 |
| 21. 対義語・類義語1 | 61. 対義語・類義語1 |
| 22. 対義語・類義語2 | 62. 対義語・類義語2 |
| 23. 対義語・類義語3 | 63. 対義語・類義語3 |
| 24. 対義語・類義語4 | 64. 対義語・類義語4 |
| 25. 同音・同訓異字1 | 65. 同音・同訓異字1 |
| 26. 同音・同訓異字2 | 66. 同音・同訓異字2 |
| 27. 同音・同訓異字3 | 67. 同音・同訓異字3 |
| 28. 同音・同訓異字4 | 68. 同音・同訓異字4 |
| 29. 誤字訂正1 | 69. 誤字訂正1 |
| 30. 誤字訂正2 | 70. 誤字訂正2 |
| 31. 誤字訂正3 | 71. 誤字訂正3 |
| 32. 誤字訂正4 | 72. 誤字訂正4 |
| 33. 送りがな1 | 73. 送りがな1 |
| 34. 送りがな2 | 74. 送りがな2 |
| 35. 送りがな3 | 75. 送りがな3 |
| 36. 送りがな4 | 76. 送りがな4 |
| 37. 書き取り1 | 77. 書き取り1 |
| 38. 書き取り2 | 78. 書き取り2 |
| 39. 書き取り3 | 79. 書き取り3 |
| 40. 書き取り4 | 80. 書き取り4 |

〔テキスト〕

漢字能力検定に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：民法総合研究Ⅱ	開講年次：1年 授業時数：80 単位数：4 開講学期：後期 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：本学職員		
〔講義主要目標及び講義概要〕 民法の修得に向けた総合的な短答演習を行う。民法全体の応用知識の取得を目指し、行政書士試験や司法試験予備試験にもつながるような体系的理解を主眼に置く。			
〔講義・演習項目〕 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> 1. 権利能力の主体と客体 1 2. 権利能力の主体と客体 2 3. 権利能力の主体と客体 3 4. 権利能力の主体と客体 4 5. 意思表示 1 6. 意思表示 2 7. 意思表示 3 8. 意思表示 4 9. 代理 1 10. 代理 2 11. 代理 3 12. 代理 4 13. 無効と取消し 1 14. 無効と取消し 2 15. 条件・期限 1 16. 条件・期限 2 17. 時効 等 1 18. 時効 等 2 19. 時効 等 3 20. 時効 等 4 21. 物権総論 1 22. 物権総論 2 23. 物権総論 3 24. 物権総論 4 25. 占有権 1 26. 占有権 2 27. 占有権 3 28. 占有権 4 29. 所有権 1 30. 所有権 2 31. 用益物権 1 32. 用益物権 2 33. 担保物権 1 34. 担保物権 2 35. 担保物権 3 36. 担保物権 4 37. 抵当権 等 1 38. 抵当権 等 2 39. 抵当権 等 3 40. 抵当権 等 4 </td> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> 41. 債権の目的 1 42. 債権の目的 2 43. 債務不履行 1 44. 債務不履行 2 45. 債務不履行 3 46. 債務不履行 4 47. 責任財産の保全 1 48. 責任財産の保全 2 49. 責任財産の保全 3 50. 責任財産の保全 4 51. 多数当事者の債権 1 52. 多数当事者の債権 2 53. 債権譲渡 1 54. 債権譲渡 2 55. 債権譲渡 3 56. 債権譲渡 4 57. 債権の消滅 1 58. 債権の消滅 2 59. 債権の消滅 3 60. 債権の消滅 4 61. 契約総論 1 62. 契約総論 2 63. 契約総論 3 64. 契約総論 4 65. 売買契約等の権利移転型契約 1 66. 売買契約等の権利移転型契約 2 67. 売買契約等の権利移転型契約 3 68. 売買契約等の権利移転型契約 4 69. 賃貸借契約等の賃借型契約 1 70. 賃貸借契約等の賃借型契約 2 71. 賃貸借契約等の賃借型契約 3 72. 賃貸借契約等の賃借型契約 4 73. 請負契約等の役務提供型契約 1 74. 請負契約等の役務提供型契約 2 75. 請負契約等の役務提供型契約 3 76. 請負契約等の役務提供型契約 4 77. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 1 78. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 2 79. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 3 80. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 4 </td> </tr> </table>		1. 権利能力の主体と客体 1 2. 権利能力の主体と客体 2 3. 権利能力の主体と客体 3 4. 権利能力の主体と客体 4 5. 意思表示 1 6. 意思表示 2 7. 意思表示 3 8. 意思表示 4 9. 代理 1 10. 代理 2 11. 代理 3 12. 代理 4 13. 無効と取消し 1 14. 無効と取消し 2 15. 条件・期限 1 16. 条件・期限 2 17. 時効 等 1 18. 時効 等 2 19. 時効 等 3 20. 時効 等 4 21. 物権総論 1 22. 物権総論 2 23. 物権総論 3 24. 物権総論 4 25. 占有権 1 26. 占有権 2 27. 占有権 3 28. 占有権 4 29. 所有権 1 30. 所有権 2 31. 用益物権 1 32. 用益物権 2 33. 担保物権 1 34. 担保物権 2 35. 担保物権 3 36. 担保物権 4 37. 抵当権 等 1 38. 抵当権 等 2 39. 抵当権 等 3 40. 抵当権 等 4	41. 債権の目的 1 42. 債権の目的 2 43. 債務不履行 1 44. 債務不履行 2 45. 債務不履行 3 46. 債務不履行 4 47. 責任財産の保全 1 48. 責任財産の保全 2 49. 責任財産の保全 3 50. 責任財産の保全 4 51. 多数当事者の債権 1 52. 多数当事者の債権 2 53. 債権譲渡 1 54. 債権譲渡 2 55. 債権譲渡 3 56. 債権譲渡 4 57. 債権の消滅 1 58. 債権の消滅 2 59. 債権の消滅 3 60. 債権の消滅 4 61. 契約総論 1 62. 契約総論 2 63. 契約総論 3 64. 契約総論 4 65. 売買契約等の権利移転型契約 1 66. 売買契約等の権利移転型契約 2 67. 売買契約等の権利移転型契約 3 68. 売買契約等の権利移転型契約 4 69. 賃貸借契約等の賃借型契約 1 70. 賃貸借契約等の賃借型契約 2 71. 賃貸借契約等の賃借型契約 3 72. 賃貸借契約等の賃借型契約 4 73. 請負契約等の役務提供型契約 1 74. 請負契約等の役務提供型契約 2 75. 請負契約等の役務提供型契約 3 76. 請負契約等の役務提供型契約 4 77. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 1 78. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 2 79. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 3 80. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 4
1. 権利能力の主体と客体 1 2. 権利能力の主体と客体 2 3. 権利能力の主体と客体 3 4. 権利能力の主体と客体 4 5. 意思表示 1 6. 意思表示 2 7. 意思表示 3 8. 意思表示 4 9. 代理 1 10. 代理 2 11. 代理 3 12. 代理 4 13. 無効と取消し 1 14. 無効と取消し 2 15. 条件・期限 1 16. 条件・期限 2 17. 時効 等 1 18. 時効 等 2 19. 時効 等 3 20. 時効 等 4 21. 物権総論 1 22. 物権総論 2 23. 物権総論 3 24. 物権総論 4 25. 占有権 1 26. 占有権 2 27. 占有権 3 28. 占有権 4 29. 所有権 1 30. 所有権 2 31. 用益物権 1 32. 用益物権 2 33. 担保物権 1 34. 担保物権 2 35. 担保物権 3 36. 担保物権 4 37. 抵当権 等 1 38. 抵当権 等 2 39. 抵当権 等 3 40. 抵当権 等 4	41. 債権の目的 1 42. 債権の目的 2 43. 債務不履行 1 44. 債務不履行 2 45. 債務不履行 3 46. 債務不履行 4 47. 責任財産の保全 1 48. 責任財産の保全 2 49. 責任財産の保全 3 50. 責任財産の保全 4 51. 多数当事者の債権 1 52. 多数当事者の債権 2 53. 債権譲渡 1 54. 債権譲渡 2 55. 債権譲渡 3 56. 債権譲渡 4 57. 債権の消滅 1 58. 債権の消滅 2 59. 債権の消滅 3 60. 債権の消滅 4 61. 契約総論 1 62. 契約総論 2 63. 契約総論 3 64. 契約総論 4 65. 売買契約等の権利移転型契約 1 66. 売買契約等の権利移転型契約 2 67. 売買契約等の権利移転型契約 3 68. 売買契約等の権利移転型契約 4 69. 賃貸借契約等の賃借型契約 1 70. 賃貸借契約等の賃借型契約 2 71. 賃貸借契約等の賃借型契約 3 72. 賃貸借契約等の賃借型契約 4 73. 請負契約等の役務提供型契約 1 74. 請負契約等の役務提供型契約 2 75. 請負契約等の役務提供型契約 3 76. 請負契約等の役務提供型契約 4 77. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 1 78. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 2 79. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 3 80. 不法行為等の契約以外の債権発生原因 等 4		
〔テキスト〕 種々の問題集及び問題プリント。			
〔成績評価〕 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：キャリアデザイン研究 開講年次：1年 開講学期：後期 授業方法：演習 担当教員：本学職員	授業時数：40 種類：専門科目 分類：選択必修	単位数：2
[講義主要目標及び講義概要] 社会でどのように働き、どのように社会で自立して生きていくのかを考え、キャリアデザインの重要性を理解したうえで、社会で求められる人材であることをきちんと表現することのできる力を養成することを目標とする。		
[講義・演習項目]		
1. 自己分析 1	21. エントリーシート・履歴書作成 3	
2. 自己分析 2	22. エントリーシート・履歴書作成 4	
3. 自己分析 3	23. エントリーシート・履歴書作成 5	
4. 自己分析 4	24. エントリーシート・履歴書作成 6	
5. 自己分析 5	25. 模擬面接 1	
6. 自己分析 6	26. 模擬面接 2	
7. 志望動機作成 1	27. 模擬面接 3	
8. 志望動機作成 2	28. 模擬面接 4	
9. 志望動機作成 3	29. 模擬面接 5	
10. 志望動機作成 4	30. 模擬面接 6	
11. 志望動機作成 5	31. 模擬面接 7	
12. 志望動機作成 6	32. 模擬面接 8	
13. 自己PR作成 1	33. 模擬面接 9	
14. 自己PR作成 2	34. 模擬面接 10	
15. 自己PR作成 3	35. 模擬面接 11	
16. 自己PR作成 4	36. 模擬面接 12	
17. 自己PR作成 5	37. 模擬面接 13	
18. 自己PR作成 6	38. 模擬面接 14	
19. エントリーシート・履歴書作成 1	39. 模擬面接 15	
20. エントリーシート・履歴書作成 2	40. 模擬面接 16	
[テキスト] 履歴書の作成や面接対策に関する資料及び官公庁・企業のホームページ並びに資料		
[成績評価] 事前準備の取り組み状況、出席状況、作成したエントリーシートや履歴書の内容等並びに模擬面接での受け答えを総合評価する。		